

和名集

并異名製劑記

全

和名集 并 異名製劑記卷之五

伊

威靈仙 イレイセン 一名八能消 イチヤクノシヨウ ウツホ草ノ根 ウツホクサノネ

也 冬月丙丁戌巳ノ日ニトリテ陰 トウツクハツヒトツクハツヒト

乾ニス餘月並ニ不堪採葉ハ柳 カサネ

葉ニ似テ重シカサス重成ホト六 カサネ

七葉車ノ輪ノ如シ六カサ子アリ カサネ

七カサ子ニ至ル者七月ノ内ニ花ヲ生 カサネ

ウス紫或ハワタク白也 カサネ

實青也根シゲク鬚多シ水聲ヲ カサネ

不聞者佳也土氣ヲ洗テ酒浸 カサネ

乾一宿シテ焙リ用テ茶シイム カサネ

郁李仁 一名八爵李 一名八車下李 カサネ

名八棟 五月六月ニ根ヲ採實ハ核 カサネ

目精 花 キナ

蘇葉 カサネ

薊 カサネ

實 カサネ

藤病 カサネ

方 カサネ

藤膏  
ノキ

カラ  
ヨモギ  
根ヤ

中ノ仁ヲトリ用ニ雷公云凡採得テ  
先湯ニタシ上ノ皮ヲ削リ去テ  
能洗ヒ生蜜ニヒタスフ一宿ノ漉  
出シ陰乾ニテ研テ膏ノ如ク用ト  
但日本ニモ、ノサ子ト云。又庭ガ  
クラノサ子トモ云其ノ炒テ打ク  
タキテ中ノミヲカニニ包ニ籠ニテ  
打テ油ヲトリ用ユ  
茵陳蒿 五月及立秋ニトル日本  
二河原ニモギト云ニモキノ葉ノ  
細ヤクニテカラニモキニ同シ但  
カラニモキヲ用ルモ吉ト云又家  
蒿陳ニ似テ太ニメ高キヲ三四  
尺極メテ芬々香ノ味甘ク辛シ

癩  
カキリ

臭  
ウラム

雷公カ云凡使ス須ク葉ヲ用ユ  
ベニ八角ナク者ヲトリ得ニ陰乾ニ  
ス根ヲ去テ細ニキサニ用ニ葉實  
根ヲ合ニ使フ事ナカレト火  
蝟皮 藥ノイカノヤウニ身ニ角アル  
魚ナリ土器ニ入テ焼用ニ蝟魚ノ  
部ニアリ  
葦毛馬莖 アシダ馬ノラ也能洗  
乾テ置テサニテシロヒテ用ニ  
テモ吉

路

露蜂房 クバチノ巢也ニキフス  
ノ如ナルヲ上トス一名ハ蜂腸一名  
ハ百穿一名ハ蜂窠七月七日取

カケホトニ名剉三酒ニタシ灸テ用

蘆薈ロクタイ一名ハ訥會ノククタイ一名ハ奴會ヌクタイ味ニ

苦シ故ニ俗呼テ象膽ト名ク巴

豆ノ毒ヲ解スル者也代藥ニ没

藥ヲ用ユ大ニ秘事也

鹿茸ロクシ 麋鹿茸上ニ同鹿ノ袋角

シ云ル毛ヲ焼ステ剉ニテテ使フ

鹿陰ロクイン 即腎ナリ製法右ニ同シ

漏蘆ロロ 一名ハ野蘭山谷ニ生ス八月

ニ根ヲ採テ陰乾ニス生甘草煎

汁ニ已時ヨリ申時ニヒタス俟

甘草汁ヲ去テ令清用ユ代藥ニ

外麻セウマヲ用ヨ

鷲鷓草シウシツサウ 葉甘草ノ事也ヨクダ

上ニ同シ

波

巴戟天ハジキテン 二八月ニ根ヲ採テカケ

ホレニス打クタキ心ヲ去焙用ニ

馬牙消バキヤシウ 石藥也其二使

麥門冬バクモントウ 日本シヤウガヒケノ根也

一名ハ禹散一名ハ禹餘二三八

十月ニ根ヲ採テカケホトニシ玉

氣ヲ洗ヒ心ヲスキサリ日ニホシキ

ホニアアル鐵氣ヲ忌

馬鞭草バシキサウ 菊ノ葉ニ似テ少ホソシ

花ウズ此葉ス也ニサク六月ニ葉ト

穂トヲ採テ日ニホシ用ユ火ヲ忌

白頭翁ハクトウウ 一名ハ野丈一名ハ胡王使

馬齒 花

根

者一名八奈何草。日本ニテシワト  
云草也。冬花サク。花黄色也。コノ  
草山谷及田野ニ多シ。四月ニ採テ  
日ニホス

蜜蟲 磨クク也。クホニ孫足シ  
サテ用ユ

白花蛇 一名八寒鼻蛇。九十月ニ  
採捕テ火ニ乾ス。大ナル者長サ三

尺バカリヤリ。唐ヨリ山椒ニセテ衆  
ト云。腹ワタ付タ所上頭ヲサツ

テ。酒ニホトスル程浸シ。身ヲトキ  
坐三焦色ニ炙リ研テ用ユ

半天河 籬ノ竹ノ中。又ハ木ノウツ  
中ニタリテアル水ノ事也

半復 一名八守田。名尺地文。ハ

水玉。名ハ示姑。日本ニハトヒス  
ヒト云草也。八月ニ根ヲトル。又五

月ニトシ根小ニ輕シ。六月ニ根  
根大ニ重シ。然共ハタケニ生ズル

依テ。五月ニトシサレハ地ヲ耕シ半  
夏散失スル故ニ今五月ニトルノ

八月ニアラハ成ニ採得テ先土  
ノナリヲ熱湯ニテ七度洗テ滑

ヲ去日ニホシ用ル時薑ニテアヘテ  
焙リ用ヘシ。又生九時七度洗テ

即白ニテ搗碎キ。生薑ヲ少加ヘテ。  
ツキ合セ神麴ノ如クニ圓ク平メ麴

ニ三夜子サセテ。日ニホシテ置ヲ半

夏カウヰト云モツモカ可也六陳ノ内ナリ

古ヲ用モツユモツニテ二年ニナラ子ス不用

又生薑多ケト半夏ノ性失ス使

時能炒モツテ用モツニ雷公カ傳テニ酢ニ

テ製スハツ法アリ

防ダ已イ 一名ハ解離カイリ日本ニテハツラ

ズノ根也二八月ニ根ヲ採カケホシ

ニスキ木防モツ已イト云モツ米泔モツニモツタラ

キサミアスル

菊根ガク 一名ハ蘭根ラン一名ハ茄根カ一名

ハ地管チ一名ハ地筋チ一名ハ兼兼

本ニテハチカヤノ子也六月ニ根ヲ

トル白水ヒニ一夜タモツカ天キ汁

ニタル

馬ハ蘭蘭花花 △レロスル井ノ花花ル

イリテ使フ

財モ母母 一名ハ空草クウ一名ハ藥實ヤク

名ハ苦花ク一名ハ苦菜ク一名ハ商商

一名ハ勒母ハ十月ニ根ヲトツテ

暴乾ス皴ヨリテニツニヘグルラ

解レワモナク九ノニツニワレサル

ハアレク名テ丹龍精ト云若ア

ヤミリ服スハ令人筋血永ク叙

ニラス坐ニ少イリテ用ユ

梅イ花花 ワウニクイノ花ヲ用日示ス

巴ハ豆豆 一名ハ巴椒ハ凡ク使スニツニ割

心シ幕マヲ去ニハツ一兩ニ麻ノ油并ニ

酒各七合入テ煮汁盡ルヲ度ト

ス又カニニ包アズラテ取テ使

方モアリ

敗龜甲 イキカク 川ガヌウヲテ製法弊

甲ト同シ

敗鼓皮 イコヒ ヤレタル鼓ノ皮也

芒硝 イセウ 其ニ使雷公大傳ニ水飛

ノ用ユ

薄荷 ハツカ 白花サク香ノセヌハツカ

ト云フ薰ノアルヲ羅蘇ト云フ

ト龍腦ハツカ上ニ同レ火ヲ忌ム

麥芽 マク 大ヒキヲ水ニ浸シカタキ

置ハ目生ス其ヲホシテ炒テモ

サキト皮ヲ去テ研ソ用

防風 フウ 一名ハ銅芸 一名ハ曲草ハ名

百枝 ヒヤクシ 一名ハ屏風 一名ハ簡根ハ

バタニ多生ル者也二月十日ニ根

ヲ搦テ暴乾ヌ頭ノニニタナト

根ノニタナトヲ不用蓋頭ヲ

去リ土氣ヲ洗ヒ剉ニ焙ル

晚棘 エンサツ 我 ガ カイユノ真子ノ丸ト云フ

蟲也羽ヲ去リキザシト炒テ用テ

馬兜鈴 バトウ 日本ニテハガイモノ根ヲ

使ル白水ニ一夜ヒタシキニ炙ル

唐ニハ實ノカワヲ使フト見タリ

白梅 ハクバイ 高麗ヨリ渡ルト云フツバイニ

スルメヲ白サトウニ入テ是ヲ用ユ

ト味審

白扁豆 ハクベン 日本ニテハ唐ニト云イリテ

スル湯ニ浸シ皮ヲサリ日ニホシラロシ  
テ用ユ

班猫 八月ニ採テ陰乾ニス使ニ

モ千米ノ汁ニタシ炒レ又ハ神足

ヲサリ白水ニミタメ後モ千米ト

ツニ入テ炒テ焦色ニナシ米ヲ

サツテ研ス



人參 一名、人衙、一名、鬼蓋、一

名ハ神草、一名ハ人微、一名ハ土

精、一名ハ血參、人ノ形千ノ如ク

ル者神効アリ、二四八月上旬ニ根

ヲトル作ルニテ鹿皮ヲサリ、暴乾

細辛ヲ一セテ風ノヒカヌ物ニ入テ

ケハタレクヲケトモ人參ノ子ス

蘆頭ヲサリ日ニ中ニ焙ル蘆頭

ハ出逆セシムル者也

肉蓯蓉 五月五日ニ採テ陰乾

スト日本ニテ天竺ニテ鹿ノツキ

タノ處ニ生タルクサヒラ也ト云説ア

リ代藥ニ五味子ヲ酒ニ一夜ヒタ

シ炒テ使ス秘事ナリ或説ニ葫

蘆巴ヲ使スト云

酢豆蔻 麩ヲ醋ニテ子テ豆蔻ヲ

ツクミアツクイノ中ニ入テ煨シ麩ヲ

サリ擣テ末ス銅鐵ヲイム

乳香 カニニ包ニ碎テ細ニ炙ラ忌

忍冬 日本スイカツラク也十月ニ

採テ陰乾ニスツル藥トモ二日ニホ  
 ニテ對ニ炙リ用ユクニシテ金銀花ト  
 云フ冬ニ凌テ不凋故ニ忍冬ト云  
 人手足指申 人手足ノ爪ヲ切リ  
 少取ヲキテ使フ炒テ烟ヲ絶ス  
 肉桂 一名ハ桂心ニ名官桂一名ハ  
 尉他圭麗皮ヲ削リ去テキサム。  
 火ヲイム

**保**

蓬莪茂 一名ハ蓬一名ハ波殺カ  
 ミニツク三炮ノキサニ用ユ。又醋モラ  
 煮テ。キサニ焙リ用ユ  
 牡丹皮 一名ハ鹿韭。一名ハ貝母ホ  
 タシノ根ノカワ也。二八月ニ根ヲ採リ

ニ陰乾ニス。土氣ヲ去ラシテ銅刀ニテ  
 サイニ心ヲサリ細ニキサニ日ニホス山  
 中ニナル花ノヒトニ赤キヲ用ユ。  
 人家ノ庭ニナル千葉ノ花アルハ  
 藥カヨハ鐵氣ヲイム。  
 蒲黃 日本カノノ十也池澤ニ多  
 生ス。血ヲ補血ヲ止ルハ炙血ヲヤフ  
 腫ヲ消ス。其儘生ニテ用ユ  
 牡蛎 一名ハ蛎蛤。一名ハ牡蛤日本カ  
 キ助ノカヲノ事也。火中ニ入ニヤイ  
 二地上ニ冷テ火毒ヲ并リ末ス  
 蓬砂 鵬砂上ニ同シ其ニ使フ又  
 土裏ニ入炭火ノ上ニ置テヤイ用  
 補骨脂 一名ハ破故紙又胡韭子ト

毛名ク緑色ナリ。葉小ニ薄荷ニ  
似タリト。少シ炒リ用ユ

北味 五味子ノ事ナリ

蜂窠 土穴ノ中ニクイタル蜂ノ  
スノ事也

**邊**

蟹龜甲 海カメノカウ也。米ノ醋ヲ又

リテ炭火ニテ六七度モ炙リ。我ト碎

程ニセテ上ノ襦ヲ去テ石ニ碎

キ白中ニ搗テ粉ニ用ユ

片腦 龍ノ事也。其ミ使フ

扁鵲 日本ニモアリ河原道ノハ多ト

ニ多シ五月ニ採テ陰乾ス。根ヲ去テ

氣ヲ洗テ到アスリ用

**登**

冬葵子 アライノ實也。炒テ用ユ

紫色ノ花サダヲ用ル也

菟絲子 一名ハ菟蘆。一名ハ菟縷。

名ハ唐蒙。一名ハ玉女。一名ハ赤網。一

名ハ菟蠟。日本子ナカツラ實

也。九月ニ實ヲ採テ暴乾シ酒ニ浸

ヨククカラカシテ酒ラシタテ濕リ

内ニシラヒ粉トス

土朱 常ノ朱ヲ用トス。又赤土

ノ事也。上モ云ク松ニ云ク丹土ノ事ナ

ルキ歟

獨活 一名ハ羌青。一名ハ護羌使

者。一名ハ胡王使者。一名ハ獨搖

草 日本ウトノ根ナリ葉ノキウノ

黄色ニシテワカマリタル處ヲ獨活ト

云フ紫紫色ニシテホソナガキ所ニシテ

多シト云フ二月ニ根ヲ採テ暴乾

シ土氣ヲ洗ヒ日ニホシテ割アル

杜仲 一名思仲名負木綿日本

ユニト云フ木ノ皮也二五六月度

ヲトシテ産皮ヲ削リ去テキサニ炒

用又薑製スリテ用ニ割ス其

絲カイト切又者ノ能ク絲断也

兔頭骨 ヲ辛ノ頭ノ骨也十二月

ニトツテ霜ニ使フ

兔腦髓 ヲ辛ノ頭ヲ十二月ニ採テ

陰乾ニツカフ

土硫 此三有イカニ赤キ土ヲ掘

ニ入レ水ニカキタテ沙石ヲユリス

テ其後彼土ヲイセテ上ノ水ヲ捨

日ニ乾シ使フ

桐油 キリノミノ油ト云認ナリ

杜若 川若ノ事也

銅靨 銅緑靨トモ云上ニ同シテ

カ子ノマツルノ事也

豚油 一名豚油イノミノ事也

ノ事也 懸蹄ハ猪ノ皮也

知

丁香皮 二月ニル鹿皮ヲ去テ使

丁香 一ト花ト云テ使火ト息

沈香 一名馬蹄香又鷄骨ニ似

八者之鷄骨香十ノスノカニモ重  
 ク水ニ洗ム者佳也丸散ニ一度  
 ニ合用ヘシ煎藥ニ餘ノ藥ヲ  
 煎ル飲セニ洗香ヲ末シ今用  
 へシ又水ニスリ冬ニモ入灸スノム  
 地骨皮 クノ根ノカワナリ十月  
 採テ土氣ヲ洗キ三日ニ乾灸  
 リ用テ又酒ニ三日浸シ日ニ水ヲ  
 下リ使フト也枸杞ノ下ニモ記ス  
 地膚子 一名ハ地茶 一名ハ地麥  
 日本ニ云ハウキノ實也今月  
 二實ヲ採テ陰乾ニス少シイル  
 知母 一名ハ紙母 一名連母 一名  
 ハ野藟 一名ハ水參 一名ハ文雷

名ハ貫母 一名ハ女理 一名ハ見草  
 一名ハ地參 一名ハ見躑草 一名ハ  
 水參 一名ハ非逢 一名ハ東根 一名  
 ハ水須川 一名ハ生ス八月ニ根ヲト  
 ツテ暴乾久銅刀ニテ毛ヲ削去テ  
 刺ニ酒ニウホシ炒テ用テ鐵ヲ忌  
 陳皮 ミカンノカワ也白水ニヒタシ  
 裏ノ幕ヲ去テキサ三日ニホシ  
 アブリ解テ又白ニ去スモ使テ  
 猪脂 フタノアブラ也  
 猪實 一名ハ谷實 日本カニニ  
 スカカウツト云ホノ實ナリ八九  
 月ニ實ヲトツテ日ニ乾炒テ末  
 地榆 日本ニハユギリ草ト云フ

葉ノヨキリニ似タリ實アカ野  
 ニ生ス二八月ニ根ヲ採テ暴乾シ  
 土氣ヲ洗テ白水ニ一夜浸シ  
 頭ヲ去テギサ三日ニホシブリ用  
 聲ヨリ來ル公藥研ミテラロ又時マ  
 ルヨナリテ杜仲ノヤチナリ  
 猪苓一名八撥猪屎二八月ニ採テ  
 陰乾シス鹿皮ヲ削リ去テ米ノ  
 泔ニタシ洗シ對三日ニホス  
 地龍 蚯蚓ノ事也日本ニハ三  
 スト云フ六月ニ道路出タルヲ採  
 テ腹ヲワリテ中ノ砂土ヲ去テ酒  
 ニテ洗シ又酒ニ一時ホシ浸ルホリ  
 上ニテキサニ炒ル

竹茹 生ナルカラタケノタマハタノ  
 事ナル上ノ青キ皮ヲケリ去テ  
 下ノ白ヲコソゲ取テ日ニホシ使  
 火ヲイム  
 竹葉 生ナル淡竹ノ葉ヲ二兩  
 ノ尖リヲ去テ用ユ  
 竹瀝 生ナル分ラヌタケヲ切テ節ヲ  
 去テ四ツワリ火ノ上ニ置テ六ツ  
 六兩ノ切リ汁出ルヲキヤウニ  
 ウケテ煎藥ヘシ用ユ  
 竹筴 タケノコノ事也  
 陳壁土 フルキカヘ土ノ事也ヨク碎キ  
 テ搗ニ入ル水ニカキタテシヤキ  
 ステ土ヲイセテウハズミラシタテ日

ニホニテ使フ

地黄カド一名地髓チソ一名共キ一名色シキ

日本ニアリ。二月三採ル其ノ一日ニ

ホサス。生地黃ト云フ。日ニホシタルヲ

生乾地黄ト云フ。蒸テ乾タルヲ

熟地黄ト云フ。生ニホシメリタルハ

藥劑ニ使ヒ難ニ依テ生地黃ト

有モ。生乾地黄ヲ用自水ニ浸シ

刀ニテ割ニ日ニホシメテ用テ銅鐵

ヲ忌ム或ハ酒ニ洗自或ハ薑汁ニ

テ製スル事モ有昔方ニヨルハ若シ

銅鐵ノ氣ヲオカセハ人ノ腎氣ヲ

損シ并ニ黒髮ヲ白カラセム

**和**

龍膽リウタン 色ノ白モアリ。又ハ黒ク紫色

ト白色ナトノ交リタルモアリ。銅刀

ヲ以テ之ヲ割テ舌ノ上ニ置ク粘ハ

ヨシ鹽ヲ拌セテ土器ニ入シ炒テ

鹽ヲ去用ユ又炭火ノ中ニテ燉キ

キ上ニ冷水ノ火ノ毒ヲ去テ用事

モアリ。又ハ米ノ酢ニミタシ打碎ニテ

ロシ使フ也

龍齒リウシ 酢ニ浸シヤキテ用ユ又其ノ

モ使フ

龍腦リウノウ 梅花ト云フ。白クスキトシリタ

ルヲ上トス濁リタルハアシ

良香リョウキョウ 日本參州ノ深山ニアリ。山ハ

シカニト云。葉ハ三ツカノ葉ニ似テ

其根ニ赤ク丸キ實ヲ生スコレヲ  
伊豆縮砂ト云フ也其根ハ良香ナ  
リト云フ説アリ狀ヨク似テ性味ハ  
少ウスル本草ニ高良香トアリ  
炒テ火毒ヲ去テ使ス又八東壁土  
ニ拌セテ炒テ土ヲサリテ用ユトナ  
リ海ヲスルト云フ説悪キ

藜蘆 一名葱薺 一名葱薺 一名葱薺

名山葱日本ニテハオモトク云草  
根ナリ三月ニ根ヲ採ニ陰乾ニス  
白水ニ三夜浸シ竹刀ニテウスク  
坐ニ又熱湯ニ入レ竹ヲ以テカキタ  
ツク沫タツシ其ヲ酢洗ヒ去テ  
日ニホシ炙テ木藥研ニテラズ

秘ニ云々採得テ竹刀ニテ上皮  
ヲコソク去テ白ニテキテ葛ノ粉  
ノ如クニカイサスルナリ上ノ水ヲ去  
テ日ニホシテ後ラツテ使フ

龍眼 唐ヨリ來ル物ノ實也中ニ  
クニ棟ノ肉ハヤツル者少シアリ

一段アノキ物ナリ日本ニテハ  
ノ實ナリト云フ此説未審別  
ナルヘシ但シ代藥ニ使フ歟

苺豆 ノエドウノ事也ト云説有  
梁米 キヒノ事ナリ青黄白色  
ノ三種アリ

劉寄奴草 ツラカ草ノ事也ト云  
葎草 日本カナタラトテツル也

キサミ灸ル

椋子木 キサミ 多クノ木ノ事判ミアル

遠志 遠 一名ハ棘苑 一名ハ蔓繞 一

名ハ細草 日本ニモアリ 小草ト云

ト也 三月ニ根葉ヲ採テ陰乾ニ

ス土氣ヲ洗ヒ日ニ乾蘆頭ヲ去テ

打ク多キ心ヲ去テ焙リ用ユ

雄黄 雄 ヨク研テ水飛ノ曬乾シ再

研テ藥中ニ入シ用ユ

嬰子粟 一名ハ象谷 一名ハ米囊

一名ハ御米 日本ニ云ケレノ事也

嬰粟穀 嬰 ケレノカラノ事也 白

水ニ浸シ裏ノ幕ヲ去テ剉アス

和

玉不留行 日本ニアリ 和名スカナ草

ス方草。カサ草。ス草。俗カワチシ

ヤトモ云ス 二八月ニ採ル漿水ニ

夜ヒタシ燂ル

黄耆 一名ハ戴椀 一名ハ戴椀

名ハ芫草 一名ハ蜀脂 一名ハ百

本 和名 ヤハラ草。カササ、二三月十

月ニトツテ陰乾ニス 蘆頭ヲ去テ

キサミ灸ル 上焦ヲ補テ表ヲ収ル

ニ酒ニ漬ノヤスル 脾胃ヲ調ニハ

蜜水ニ浸シ焙ル 下焦ノ元氣ヲ

補ス 六塩水ニヒタシテ灸ル 味ノ

取キヲ用ユヘシ 苦ハ入ヲ瘦シスル

劉キスハワタノ如ユクナルヲ綿メン黃ワウ芪シト云セス又一說セニ綿メン八ハ地チノ名ナトアリ

黃ワウ芪シ一名ナ八ハ内ナイ麴キョク一名ナ黃ワウ文ブン一名ナ經キョウ基キ一名ナ茹ニョ婦フ和ワ名ナ八ハ三サン月ゲツ

三サン日ニツニ根ネヲ採サイテ陰カク乾ホシス中ナカノ朽クタルヲ空クウ腸チョウト云セス又マタ片ヘ苓テイ茶チト云セク

ク千チ多タ丸ワ處トヲ削セツリサホル細ホソク堅カタキ處トヲ鼠ソ尾ビト云セス又マタ條テイ苓テイ茶チト云セク

酒サケニ浸ヒタシテ久キウシ但タ傷シヤウ寒ヤウ裏リ熱ネツ甚シ

キキ六ロク生セイニ用ヨウユ方ホウニヨル

黃ワウ連レン一名ナ八ハ玉ヨク連レン日本ニッポンニアリ和ワ名ナカ

久キウノ韞ケカイノ草クサ蘆ロ頭トトモトヲ去サテ

去サテ劉キ三サン炒チョウル又マタ酒サケニ濕シツシテ炒チョウシ

モアリ方ホウニヨルヘシ目メノ藥ヤクノトキ

生セイニ使シクモアリ

黃ワウ柏ハク 黃ワウ蘗ノクトモ書カク一名ナ檀タン檀タン檀タン

日本ニッポンニ云フキワタノ事コトナリ鹿シカ皮カヲ削セツリ去サリ劉キ三サンイイル或シハ酒サケヲヌリ

或シハ蜜ミツヲヌリ又マタ鹽シホ水スイニヒクテ

モアリ何ナニモ劉キニテ能ヨクイイツテ用ヨウユ

黃ワウ丹タン 即スチ鈆エン丹タン一名ナ鈆エン華カツ子コ

タシノ事コト也ナリヲ研ケンテ水スイ飛ヒノ日ニツ

ニ乾カン再サイヒ研ケンテ使シフ

黃ワウ精セイ 一名ナ重チュウ樓ロウ一名ナ龜キ竹チク一名ナ

八ハチ雞キ格カク一名ナ八ハチ救キウ窮キウ一名ナ八ハチ鹿ロク竹チク山サン

ニ生セイス二ニ月ゲツニ根ネヲ採サイテ陰カク乾ホシニス

雷ライ公コウカニ云フク葉ハ竹チク葉エフニ似ニタリ

凡ソト採サイ得トクテ先マツ溪セキ水スイヲ以モツテ洗アラヒ

淨後三蒸一已ヨリ子ノ時ニ至  
ルト。サテ細ニミサニ曝乾シ用ユ。日  
本ニモアリ。丹波雲州ナトニモアリ。  
所ノ俗ニシテ名ニアトヨロト云  
根ヲ堀テ食ス。根ハ麥門冬ニ似テ  
長ニ有テシクケリ。葉ハ土キヲ包  
サニ似テ筋アリ。霜ノ降ルニ巨ナ  
六葉皆黃色ニ成ナリ。

**加**

甘草 一名八國老。一名八蜜甘。一名  
八美草。一名八蜜草。一名八落草。  
和アニ木日本奥州ニアルト也。ア  
ズト少シ温ニナル。脾胃ヲ調ヘ氣  
ヲ補ニ灸ル。塵熱ヲサルニ生ヲ用

玉上度ヲサレ

甘松香 布ニ包ニ水ニテ土氣ヲ  
洗ニ日ニ乾シ使  
寒水石 一名凝水石。一名白水石。  
白クスキ通リタルヨシ。自藥ニ使フ  
時ハ酢ヲ付テ至器ヲ二重火ノ  
上ニ置テ蓋ヲシテ七度ヤケハ少  
シ。灰色ニナルヲ研テ水飛ニ使フ  
訶梨勒 雷公カ云ク四種アリト云  
未タ其狀ヲ知ラス。凡修事ス  
ルニ先酒ニ浸メ後ニ蒸シ時其  
訶梨勒ヲ分テ以テ陟ヲ能リキ  
甘三乾テ用エトナリ  
蛤粉 一名八文蛤。一名伏老ハニク

リノ具カラノ事也イカニモ陳キヲ  
能ヤキテ碎キ使フ但前藥  
ニ入レス

香白芷 一名ハ芳香 一名ハ白芷

一名ハ麝 一名ハ莞 一名符離 一

名ハ澤芬 葉ハ南麻ト名ツク日

本ニモアリ 和名 カサモ子ヨロイ

草。サハウド。二八月ニ根ヲ採テ蒸

乾ス製法ハ蘆頭ヲ去リ土氣ヲ

能洗ヒウスク劉三沸水ト時キ

浸シ蒸テ日ニ干テ使フ火ヲ忌

香附子 莎草根トモ云フ一名ハ

蒲。一名ハ蔞莎。一名雀頭香。日

本ニモ有 和名 ミクリ。又カヅリク弁

トモ云フ二八月ニトル雷公カ云凡

採得テ陰乾ニ石臼ノ中ニ於テ

搗鐵氣ヲ犯ス一ナカレト今常

製ス皮毛ヲ削リ去テ白ニツ

キテ能炒リ用

何首烏 一名野葛。一名交藤。二

名ハ夜合。一名地精。一名陳知白

雷公炮製論ニ云ク春夏ニ採竹

破シ以テ切テ米ノ泔ニ浸テ一宿ヲ

經テ暴乾ス蔓ハ紫色花ハ黄

白色ニ著黄ノ如シ赤白ニ種

リ。赤ハ雄。白ハ雌ナリ。用ル時ニ木

臼ノ中ニツキ碎キ細ニテ使フ鐵

ヲ忌ム。日本ニモ大山ノクモトナト

アリ葉ハヤノイモノ如クニシテ  
根ニ黒ニサスナリ。根ニ口クモクモ多  
シ或説ニ俗ノ云々ヲ云フト云ツル  
アリ是十九ヘシ

香蒲 カクホ メカノ事ナリ  
合歡 カクカン 一名ハ合昏樹ニ名ハ志

夏 ヤカ 二名ハ夜合 ヤカク 和名子フノ木ノ  
カワナリ時ニ拘スントハ鹿皮ヲ削

去テ剉ニ乾シ用ユ  
夏枯草 カクサウ 和名ニシタウ草花ノア

ル時ニ採テ干シサニ炙リ用ユ  
或説ニ根ハ葳靈仙也上云フ

海桐皮 カイトウヒ 沸水ニ浸シ能ク洗ヒ上カ  
ワラソクケ去テ剉ニ炙シ代藥ニ

タラノ木ノカワラ白水ニ三夜ニ  
タシテ上皮ヲヨクケ去テ剉炙  
テ使ス又云イ又サシセウノ木ノ  
皮ト云フ説アリ或本ニ云合歡  
ハ南蠻物ナリ舟ナトイハニス  
ルナリ

乾薑 カンキヤウ 生姜ヲ九十月ニ採テ井  
花水ニ二日浸シ上皮ヲ削リ去

テ又水ニ六日ヒタシ毎日水ヲカ  
元也サテ白ニホシ用ル時ニキザシ

少シ炙ル井花水ト云ハ平旦第  
一二汲水ヲ云フ又藥屋ニ賣ハ

蒸テ石灰ニシテ置ナリ其ハ  
熱湯ニ浸シ上ノカワラト石ハイド

ヲ削リ去テ紙ニ包ミ水ニ浸ラシメ熱クハ三ノ炮ノ年サシ灸テ

乾生薑 生ナルハビカニテ其ノ日

葛根 一名ハ雞齊根。一名鹿藿

一名ハ黄斤。和名クズルノ根ノ事也

五月ニ根ヲ採テ暴乾ス人家ノ庭

キ所ニ生スルヲ用ニ深山ニ生スル毒

アリ製法ハ蘆頭ヲ去リ土氣ヲ

洗ヒ去テ白ニホシ割ニ焙リ用ニ葉ハ

金瘡ノ血ヲ止ルヲ主リ花ハ酒ヲ

消ス事ヲ主ル

葛粉 生ナルクズノ根ヲ水ニ浸シ搗

テ其汁ヲイサセテ日ニ乾ラシ云ソ

即チクズノコノ事也

海南石 丸イシノ事也コソケ使フ

艾葉 一名ハ氷葉。一名ハ醫草。和

名ニモキノ葉。本草ニ三月三日ニ採

テ暴キトヤリ日本ニ三月五日五

日ニ下リ來ル也又云モ千米ト交テ

搗ニタモ搗合昆曲ニテ乾キサシテ

フリテ用ルケモアリ

藁本 和名カサモキ。サハソラシソ

ラレ土氣ヲ洗ヒ坐ニ用ユ又ソソト

灸ト云フ説アリ代藥ニ川芎ヲ

用ユトナリ

香薷 日本ニ多キ也此藥ヨク人

ヲノクスリ

ノ

ノ

ノ

ノ

ノ

ノ

レレ故ニ本草記サズ圖經云夏  
葉秋ハボヲ採テ陰乾ニテ用テ  
ホ尤モ効アリ火ヲ息

甘遂 一名ハ甘遂 一名ハ陵澤 一  
名ハ重澤 一名ハ主由 和名ニハソ。

ニハソ子 二月ニ根ヲトツテ陰乾ニス  
雷公カ云ク凡トリ得テ後莖ヲ去

槐砧ノ上ニ於テ細ニ割ニ生其中  
湯小薺丸ノ自然汁ニ味ヲ用ヒ

ニ三日浸セハ其水墨汁ノ如シ  
テ漉出シ東流水ニテ淘洗ヒ其

水ノ清ヲ度トシ後土器中ニテ  
晒ノ用ト也私ニ云ク相反ノ藥ヲ

以テ甘遂ノ毒ヲ去ト見タリ若

此藥ヲ用テアラス製法ニルカセ

乾漆 ヲルシヲ夏至ノ後採テ陰

干テ打クダキ土器ニテ炒テ煙  
ヲ盡シテ使フ

海帶 ニルノ事ナリ 黒焼ニテ使

事モアリ

交桂 ニ桂ヲ交ヘタルヲ云フト又  
一説ニ交州ヨリ出ルヲ云フト也

海藻 一名ハ落首 一名ハ薄 日本

云神馬草ト云又ニクリトモ云フ

七月七日ニ採テ暴乾ス

荷葉頂 ハスノ花ニテモ葉ニテモ

アレツキ元キヲ用テト又云若

ト葉トノ際ヲ用ユト也

毫車 カマシヤ フルキ筆ヲトリ集燒テ使

海羊 カイヨウ カ多ツリノ事也袖珍方ニ

見ヘテ

我木 ガシツ 達我木トモホノ字ノ篇ニ

記ス

與

薏苡仁 ヨクイシ 一名解蠱一名八屋茨

一名八起實一名八藟カサ 和名ヒユズ

冬ノ事也實ノ熟スル時採テ

ニツニ割テ殼ヲ去リ炒テ用ユ根ハ

採ニ時ナシ蘆頭ヲ去リ能土氣

ヲ洗ヒ割ニ日ニ乾シ炙リ用ユ

預知子 ヨクイシ スメ瓜ノ實ナリ中ニ縮

砂ノヤウナル實ナリ其ヲ採リ煉

テ使フト

大

丹參 タンシ 一名六却蟬草一名赤參

名木羊乳和名アノ草日本羨

濃ノ國ニアルト也五月ニ根ヲ採テ

暴シ乾カス

丹砂 タンシ 一名八真朱日本ニ伊勢ノ

國ニリト云ス水飛ソ研テ使フ

大薊 ダイゲイ 小ケイ俱ニ種也大ケイハ

山谷ニ生スルアガサ也思マサニト

モ云ス五月ニ根ヲ採テ土氣ヲ

洗ト蘆頭ヲ去リ割ニ炙リ用ユ

小ケイハ人家へ近キ田野平澤

二生スルナリ藥性ハカハルソ

澤漆 一名六澤莖大戟ノ苗也三

月七日ニ莖葉トモニ採テ陰乾ス

ト日本ニテハ野ウレノイナリト云

説アリ又一説ニクサギノ葉也日ニ

于テ使フトアリ未詳カナラス

大戟 一名ハ功鉅澤漆ノ根也十

二月ニ採テ陰干ニエ白水ニ浸シ土

氣ヲ洗ヒ蘆頭ヲ去リキサニ晒

干用ユ

當歸 一名ハ乾歸一名山藟日

本ニテハ常陸ノ國ノ當歸ヲ上ト

ス越前信濃ノ當歸ハアリ和

ヲホセリヤセリウセリカクサニ

八月ニ根ヲ採テ陰乾ニス白水ニ

浸シ土氣ヲ洗ヒ蘆頭ヲ去テキ

サ三日ニ于焙ル又酒ニヒタシ炙

用ル事モアリ

桃花石 カルイシノ事也

澤瀉 一名ハ水瀉一名ハ及瀉一名

芒辛 一名ハ鵲瀉和名オモタカノ

根ノ事也五八月ニ根ヲ採テ陰乾

ニス土氣ヲ洗ヒ毛ヲ削リ去テ日ニ

干剉ニアリ用テ酒漬ノ使フ

事モアリ

桃仁 モノサ子ノ中ノ實也七月ニ

ト丸炒テ湯ニ浸シ皮ト小糸リトヲ

去テ銅刀ニテ剉ニ用ユ

鑛墨 大益ノスニ事也

桃花 ハナ モノノ華ノ事也三月三

日ニ採テ陰乾ニス

桃鬼 タウキ 一名ハ桃奴一名ハ梟景モ

ノ熟セヌモ落キヌ木ニ著テスル

ヲ正月ニトル也

桃膠 タウキョウ モノヤニナリ干カクニ使フ

澤蘭 タクラン 一名ハ扁蘭一名ハ龍棗

名ハ虎蒲 コホ 和サアラキ。アカク

サ莖四角 カク ナ筋通リクホヒアル三

月三日ニ採テ陰乾ニス

大棗 ダイサウ 一名ハ乾棗一名ハ羨棗一名

ハ良棗 和名 ナツメノ事也大ナルヲ

蒸シ日ニ干スヲ三度ノ枝ヲ去テ

藥ニ入ル

大黃 ダイカウ 一名ハ將軍一名ハ黃良日本

ニモアリニ八月ニ根ヲ採テ蒸暴

乾スト唐ヨリ來ルヲ用スヘ其ハ

一割ニ用ユ又ハ紙ニ包ニ炮ノ使

事モアリ

大陰玄精 ダイインセンセイ カナクソ也三四月ニトル

代赭石 ダイシヤクシ 一名ハ血師赤紅青色ヲ

雞冠ノ如シ鹵水下自然ニ疑結

ノ石ノ如シ九ト日本ニモ太宰府

ニアルト也製法ハ細ニ研テ水龍

ノ水上ニ浮フ物ヲ去リ研用ユ

玳瑁 ダイゴウ ヤスリニテ研シ粉ヲ用ユ

大角豆 ダイカクツ サネノ事也

大腹子 日本ニ拱榔ト一ツニ四

子大ナルヲ大腹子ト云ヒ小サク圓キ

ヲヒシラウト云ハ不可然乎見ヘタリ

圖經ニ云大腹トヒシラト相似タ

リ但莖葉根莖少シ異也陶弘

景由ク陽ニ向フヲヒシラウト云陰

ニ向フヲ大腹子ト云ト也勝ヲ

去リ剉三用ユ

大腹皮 即チ大腹子ノ皮ナリ先

搥ニテ打テ白水ニ一夜浸メヨク

洗ヒテ又坐十九大豆ヲ打クダキテ

水ニスリタテ其汁ニ一夜浸シサテ

又酒ニ一夜ヒタス其後チ清水ニテ

洗ヒ淨メ日ニ乾シ坐三焙リ用ユ又

一説ニ酒ニテ洗ヒ其後黑豆煮

汁ニテアラセ剉ニ使ト也

獐肉 和名一ニト云タヌキニ似タ

ルケタモノ也狸ヨリモ大キニソフト

ク毛少シ黒色ナリ

大豆黄卷 名ニメヲ立ニセテ生

出タル時ニ採テ豆ヲ去剉ニシル

糯米 モチ米ノ事也

蓮 蓮華心共云ハスノ花ノ

ニヘノ事也

蓮肉 久ノ實ナリ打碎キ皮ト

心膜トヲ去リ卒ト炒テ用ユ

炒ストモ苦カラス

蓮房 ハキスノ實ノヌケカラ也キ

サニ灸ル

連翹 一名ハ異翹一名ハ蘭花一

名ハ折根一名ハ軀一名ハ三廉

大山ノ山谷ニ生ス八月ニ採陰

乾ニス其ニ使フ火ヲ忌ム 和名

イタチハセイタチクサ

羚羊角 カモシノ角也サニテラ

口レ粉藥ニテ藥中ニ入レヨ切メヨ

リ風ノヒカヌヤウニ買ヒ火ヲ忌ム

**楚**

續隨子 一名ハ拒冬一名ハ千金子

製法ハ箱ニ入テ上ヨリ板ヲ以テ

オシモスハ上皮脱スル也皮ヲヒス

テ、實ヲアスリ研メ紙ニ包ミ上ヨ

リオレ油ヲ取テ用ユ

鼠尾草 和名ニラハキノ事也キサ

三灸ル

續斷 一名ハ龍身一名ハ屬折一名ハ

接骨一名ハ南草一名ハ槐 和名

ヲユノヤカスハニクリ俗ヲニラサニト云

ト也。説ニ常ニ食スルアサニノ葉ノ

事也七八月ニ採テ陰乾ニシ能ク

洗ヒ日ニ干坐ニ灸ル

側柏子 側柏仁 柏子仁ニナ上ニ

同ニ日本ソククノ實ヲ使フ又

日本ノ自檀トモ云フ

側柏葉 即千葉ナリ北ハサニ灸ル

枝葉ヲ採テ日ニ干タリ用ユ

蘇香油 常ニ調ヘ置ク雨水ニ合テ

シク也水ナケル乾キニシテ合薬

ヲ合シ前ニ水ヲスレ温カクシ煉

蜜ヲ入シ能カキアセ新キ絹ニテ

漆ヲコスヤウニ濾シ藥中ニ入ヨ

酢漿草 一名ハ鳩酸草ト名醋母

草 和名 スイモノ草ノ事ナリ味

酸四五月ニ取テ陰乾シス

葱子 ヒトモシノ實也

葱白 即チ根ノ白ニ也

**津**

通草 一名ハ附子支ニ名了翁

一名ハ通脫木 和名アケヒツルノ

事也 枝ヲ通草ト云ヒ根ニ近キ

莖ヲ木通ト云フ皮上節ト去

テ剉ミアス

**良**

藍葉 アイノ葉ナリ日ニ干テ碎

キ茶臼ニテヒキ細ニ用ユ火ヲ忌

藍玉 コシ屋ニ使フアイダニ也打

クタキ能ラロシテ用ユ火ヲ忌

雷丸 一名ハ雷矢 一名ハ雷實唐

ヨリ來ル也竹ノ根ニアルト也唐

本ノ註ニ云ク竹ノ根也ト狀カク

ノ貝母ニ似タリ打破テ中ノ白

キヲ用ユヘシ赤キヲハ用ユヘカラス

人ヲ殺ストアリ雷公カ云打破

干甘草水ニ浸シ上ノ黒皮ヲ去  
アカ子カクナ  
 テ銅刀ニテウスク割リ又甘草湯  
 ニテ蒸ス一巳ヨリ末ノ時ニ至ル  
ホシ  
 サテ日ニ干又酒ニ浸シ前ノ如ク  
ヒビ  
 蒸テ日ニカハラカニ用テ下也方ニ  
ヨク  
 依テ黒皮ヲ去リ其ノ使フ  
イニツ子  
 モアリ今常ニ藥屋ニ雷丸ト云  
ウル  
 テ賣ハ大楓子ナリ誤リ用カス  
**狼毒** 一名八續毒唐ヨリ來ル也  
スク  
 陳ノ水ニ沈ム者ヲ良ト以日本  
 ニテハ三ツナキト云草ノ根ナリ  
ホシ  
 ト云又一本ニヤクサ葉ハ商陸  
ゾウ  
 及ヒ大黃ニ似テ莖葉ノ上ニ毛  
カハキイロ  
 アリ根ノ皮黄也ニ肉白ト云

月ニ採テ陰乾ニ云  
シクシク  
 黃芩子 一名八橫磨一名八行磨  
カウロウ  
 五月ニ實ヲ取ルト也和名ノ赤ニ  
セツ  
 ル多クニエル者ニ説ニ今日本ニ  
云フタ  
 云フタハノ實也ト云ハル  
**蘭草** 一名水香和名フキ分メ  
ユ  
 俞波溪云多ク入テ人ニラス即チ  
コシ  
 是澤蘭ナリト四五月ニ採ル  
ラクセキ  
 絡石 一名八石鱗一名八石塊一名  
ラクセキ  
 八略石一名八明石一名八領石一名  
ケン  
 八懸石石ニトヒテ生スル也  
アヒタ  
 正月ノ間ニ下ル葉ト葉トノ用  
アヲ  
 麗布ニテ毛ヲ拭去テ其巾湯  
ニシ  
 ニ浸シ洗出テ日ニホス

鬱金 火ヲ忌其ノ剉ニ用ユトイ  
下モ方ニ依テ少シク灸カ使テ事  
モアリ薑黃ノ條下ニ記ス我述  
姜黃鬱金ノ二種ハ一物也ト云  
説ハ誤リ本草ヲ考ヘ見ル各  
別ナリ

茴香子 和名クノオモ三月ニ葉  
ヲ生シ五月ノ時分テ長三四尺  
七月ニ黄ナク花サク九月ニ實ヲ  
採テ陰乾ニス大茴香ハ日本ニ  
ナク唐ヨリ來ル也多キノ實ニ  
似テ少シク大キ也  
烏藥 一名ハ房花其ノ剉ニ使フ

禹餘糧 海池ノ中或ハ池澤ノ  
中名ニナトニ生スト日本ニ大  
宰府ニアルト也

烏梅 火ノ青キ時ニ取火ニテ  
煎テ乾拔フ去テ坐ニ用ユ  
雲母 一名ハ雲珠一名ハ雲華。一  
名ハ雲英。一名ハ雲液一名雲砂

一名ハ磷石和名キマ日本ニアリ  
陸奥國大和國參河國ナトニモ  
アルト也二月ニ取テ清白ニ氷ノ

如クナル者ヲ上トス製法ハ色々  
多クテトモ今キラ屋ニ氷ニ洗  
サラシテ賣フ其ノ使フ

烏頭 附子ノ條下ニ註ス烏喙天

雄側子三十同類也

鳥雄雞肉 點モ六ナリノラン鳥也

鳥賊魚骨 イカノ骨也裏ヤハラ

カチカチヲゴダ研テ水ニイサセ

テ上スミラ捨テ日ニ干テ使フ

又焼テ使フ事モアリ

雲實 一名ハ負石 各只雲英

名ハ天豆 和名ハサキ十月ニ

採テ暴レ乾カス

烏蛇 骨ト皮ヲ去テ酒ニ浸レ

炙テ丸散ニ入レ用ニ

烏蛇退 一ヒノキ又也製法右同

腦脂 龍腦ノ事也

父

鶴虱 和名イネリ草ノ實ナリ

ソト炒テ使フ

黄草 カリヤスノ事也

齒膏 和名ミタ、ヒロタ、ヒ雷カ

云ク凡ソ採得テ刀ヲ以テ上ノ

龜皮ヲケツリ去テ生姜ノ自然

汁ニカキ一セテ蒸テ一日サテ日ニ

暴レ干用ニ

瓜樓根 栝藁根トモ書ク各ハ

地蔓一名ハ果藤一名ハ天瓜

一名澤姑 和名カラスウリノ根也

土ニ入ル深キ者佳ナリ二月ニ

取テ暴干ス製法ハ土氣ヲ洗ヒ

白水シロミツニ一夜一夜浸シノ蘆頭アサギト上上皮皮ト  
ヲ去去テ去日日ニ干干ス干タル鐵テツ氣キヲ  
忌忌ム忌葉葉ハ中中熱熱ヲ療療シ療暑暑ヲ  
ヤズル

瓜樓實カウロク 栝ク葉葉仁仁上上三三同同レレカラス  
ウリノ實實也也九十月九十月ニニルル皮皮トト穢穢  
トト去去テ去日日ニ干干。土器土器ニニテテ少少シシ炒炒  
末末ノ用ノ用ニ鐵ニ鐵ヲヲ忌忌ム

瞿麥クマク 一名一名巨巨句句麥麥。一名一名大大菊菊。一

名名大大蘭蘭 和名和名河原河原ナナテテレレココノ

實實也也藥藥殼殼ヲヲ用用ニニ葉葉ヲヲ用用ニ

ヘカラスヘカラス葉葉殼殼ハハ坐坐三三實實ハハ其其ニニ用用

苦參クサン 一名一名水水槐槐。一名一名苦苦識識。一名一名

地槐チケイ。一名一名菴菴槐槐。一名一名駱駱槐槐。一名一名

白白葉葉。一名一名虎虎麻麻。一名一名公公孫孫葉葉。一

名名祿祿白白。一名一名陵陵郎郎 和名和名クラクラ。

二月二月リリククササ三月三月トト八月八月ニニ根根ヲヲ採採暴暴

乾乾カカスス土土氣氣ヲヲ洗洗ヒヒ日日ニ干干米米泔泔ニ

一夜一夜ヒヒタタシシ劉劉三三乾乾ヲヲ焙焙シシ鐵鐵ヲヲイイム

款冬花クワンカ 一名一名素素音音。一名一名顛顛凍凍。一

名名虎虎鬚鬚。一名一名菟菟絲絲。一名一名氏氏

和和フフキキノノトトウウ雪雪ノノ中中ニニ花花ツツホホ三三

タルタル時時採採テテ用用ニニ花花ノノツツホホ三三餘餘

ニニ小小ササキキヲヲトトレレハハ性性弱弱シシ又又華華

開開ニニトトレレハハ藥藥性性ニニテテ失失テテ弱弱

シシイイママタタ花花ノノ開開カカササルル前前ニニ取取テ

花花ヲヲ包包ニニタルタル上上ノノ皮皮トト花花ノノ中中

ノノ心心トト莖莖葉葉トト去去テテ陰陰乾乾ニニ

坐三用五

貫衆 一名貫節 一名貫渠 一名貫頭 一名鹿卷 一名扁府 一名伯萍 一名藥藻 和名ヲニ

ワシモノ根 又云セニイノ根也 二月ニ根ヲ取テ陰乾ニシ土氣

ヲ洗ヒ蘆頭ヲ去リ白水ニ一夜 浸シ餅ニ焙リ用エ圖經ニ云苗

狗脊ニ似タリ枝多シ花アルモノ 春苗ヲ生ス狀チ蕨ノ如シ葉

大キニ又綠色ナリ莖三角ニ根 ノ色黒ク紫也三月ニ根ヲトル

軍薑 ハシカニノ古根也

軍薑

官桂 肉桂ノ異名也本草ニ云ク

嫩キ枝ノ皮ヲ肉桂ト名ク老ク

ル枝ノカワラ桂枝ト名ク又ハ木 桂トモ大桂トモ名ク肉ノ厚キ者

能ク皮ノ麋皮ヲ削リ去ニ使フ

ヲ桂心ト名ク已上三種ハ皆同 類也イソノ麋皮ヲ削リ去ニキ

サニ用ユ火ヲイム 藕莖 一名水芝用 一名蓮ハス

藕節 ハスノ根ノクシ也 藕汁 ハスノ根ノニル也 藕皮 ハスノ根ノ皮ノ事也

藕實 ハスノ三也即チ蓮肉也

瓜蒂 カワウリノオソ也 七月七日ニ

トツテ陰乾ニス

槐實 和名エシジノ木ノ實也

七月七日ニ採テカワヲ去用ス又

本草ニ云十月上ノ色ノ白ニ是

ヲ取テ服スル百病ヲ去リ長

生神ニ通スト

槐枝 同ク科ノエタ也

槐木皮 同ク木ノ皮ナリ

槐根白皮 同ク根ノカク也 鹿皮

フサリ坐ム

槐葉 同ク木ノ葉也

槐膠 同ク木ノヤニ也

槐花 同クエシジノ花也 四五月ニ

花開ク也

拘杞 一名ハ把根ニ名ハ地骨一

名ハ把忌一名ハ地轉一名ハ羊乳

一名ハ却暑一名ハ仙人杖一名ハ西

王母杖 圖經ニ云ク正月上ノ寅

ノ日并ニ正月上ノ子ノ日ニ根ヲ

採三月上ノ辰ノ日ニ莖ヲトス五

月上ノ午ノ日ニ葉ヲトス七月上

ノ申ノ日ニ花ヲトス九月上ノ戌

ノ日ニ實ヲトス又云其實ノ形

長クノ枝ニ棘ナキ公真ノ拘杞也

其實ノ形千圓ノ枝ニ棘アル者

ヲ拘棘ト名ク云根ノ皮ヲハ郎

地骨皮ト云製法ハ前ニ記ス

云ク根ハ多トリ葉ハ春夏ニトル

莖實ハ秋取テ陰乾ニス

薰陸香カウ マカミニテ緩ク白ニ打

碎キテ其ノ使フ火ヲ思

馨香カウ 先水ニ浸シ新ニ辛布袋

ニミリ入ニ土石ヲ去テ又清キ水

ヲ以テ袋トモニモニ洗ヒ日ニ乾シ

キサニ用テ火ヲイム

多クイセキヤキ 花藥石 燒テ使フ

狗脊セキ 唐ヨリ來ル也毛ヲ削リ去

テ細ニキサニ酒ニカキマセ蒸テ用

ユヘニ同ク毛ハ血ノ止マラサルニ付テ

ヨシ日本ニテイヌワレヒノ根也

ト云フ又一説ニ山ワラヒノ根也ト

モ云フ未詳カナラス

苦棟根皮ク 和名アフキノ木ノ根

ノカワ也實ヲ生スル木ノ根ヲ用

ユ實ヲ生セヌ木ノ根ヲ用ユヘハ

吐逆スルナリ東ヘサレタル根ヲ用

ユヘレ又木ノ皮ヲモ用ユル事アリ

苦楨子ク 又金鈴子トモ云即ア

フキノ木ノ實也日ニ干酒ニ浸

テ皮ト核トヲ去テ肉ヲ用ユ

萱草ク 一名ハ鹿葱 和名ワスレクサ

瓦粉ク 瓦キカワラノ事也碎キ細

ニノ使フ

蝸牛ク 和名カタツフリノ事也

滑石ク 一名ハ液石一名ハ共石一名



和名 カラスアフリキト云ク幹ノ根也

イナハツニ似テ黄色ナル花サ川

谷田野ニ生ス三月三日ニ根ヲ採

テ去氣ヲ洗ヒ蘆頭ヲ去リ日ニ乾

米泔ニ浸シ剉シ又日ニ干スル

**未**

麻黄 一名卑相一名龍沙一名ハ

卑鹽 和名 カツ子クサアノナ立秋

ニ採ニ陰乾ニス上製法ハ白水浸

シ洗ヒ上ニテ銅刀ニテ節ヲ去リ剉

水ニテ煮テ竹ヘラヲ以テ上ノ沫ヲ

去リ盡シ漉出シ日ニ乾焙リ用

ユ沫モシ盡サルヲ服スルハ人ヲレテ

悶センム

蔓荆子 和名ハハヒバツハキトモ

云ク濱ニ生ス近江國ナトニモア

リ葉ハツキノ葉ニ似テアツク和

ラカニシウラハ霜ノ降ルニ養ニシ

白シ紫色ノ花サツルニ似テツルテ

モチシ九月ニ實ヲ取テ酒ニツケ蒸

テ乾シ使フ

麻仁 アサノ實也上皮ヲ去リ炒テ

研テ用ユ

萬木鼈 一子ノ事也ス湯ニ浸シ

上皮ヲユツク去テ銅刀ニテウスク

剉シ木藥研ニカシメリノ内ヲロス

サツケ六研ケカス者也又サメニ

テシロシモスルソ

卷栢 日本云岩巴ト云一名ハ

萬歲 一名ハ豹足一名ハ米股一

名ハ交時五月七月搗テ陰乾

ニシテ劉三炒テ使フ

假蘇 一名ハ荆芥穗葉ソノ使

三月三日三種ヲ一七八月ニホ

イリテ實熟スル時ニ取テ陰乾ス

荆瀝 荆芥ノ子ニ丸葉ヲモミ其

汁ヲ煎藥ノ中ハ入ヘテ一葉ナキ

時ハ荆芥ノホヲ藥種ノ白ハハニ

雞蕪 薄荷ノ香ノヨキヲ云フ香

ノナキハツカト云フ

雞腸草 ハニノ事也

雞冠子 ケイトウダノ實也炒テ

用又雞冠花ハケイトウダノ花

也キサニ灸ル

玄參 一名ハ重臺一名ハ鹿腸一名

正馬一名ハ威一名ハ端三四日ニ根

ヲ取テ暴干ス日本木曾山

アリト云ス採得テ土氣ヲ去蒸

テ日ニ曬干ス唐ヨリ來ル肉堅ク

黒キ者佳也劉焙テ用ユ

玄胡索 本名ハ延胡索也其一

キサニ使フ

决明子 日本ニテハカウ草ト云草

ノ實也十月十日ニ取テ陰乾ス

其一ニ碎テ用ユ

雞舌香 日本ニナシ 劉シテ口ス火

ヲ思フ一説ニ日本ノ桃ノヤニナリト

云フ未審カナラス代藥ニ使事

アル歟

桂枝 内桂ノ枝ノカワ也 上皮下

削リキサニ用テ火ヲイム

牙皂角 又指牙皂角トモニ猪ノ

牙ニ似タル故ニ云又皂莢トモ

云フ日本ニテハサイカシト云フ

木ノ實也九十月ニトル中ノ

トサトヲ去テ銅刀ニテ細ニ切

日ニ乾シ炙リ用ユ

雞頭實 日本ニテハウツラキノ實

也上カワヲ去テ炒ル

不

附子 八月上旬ニトル用テ熱灰ニ

テ炮シ過ス事ナカレ雷公カニ

ヨ多使フ八角ナル者ヲ用ユトアリ

陳カ云ク八角ナシ冬月ニ採テ附

子トシ春トシラ鳥頭トス文武

ノ火ノ中ニテ炮ノ皮臍ヲ去テ辛

サニ用ユ

浮萍 水萍ノ事ナリ水萍ノ下

ニ具ニ記ス

浮麥 ヲムキノカス也炒ル

蕪夷仁 一名ハ蕪蕪三月ニ實シ

採テ陰乾ニス少シ炒テ用ユ唐

李ノ注ニ云ク爾雅ニ云ク一名ハ

葳蕤今葳蕤ト名ク六字ノ  
誤リ也

覆盆子 日本イキコノ事ナリ蓬

蘗ト同レ物異名ト云但蓬蘗

ハ根ナリ覆盆子實ナリ孟詵力

云ク覆盆子味ヒ酸五月ニ麥

田ノ中ニ於テ得ル

茯苓 大山ナトノ大松ノ根ニ生ス

二月ニ取テ陰乾ニス黒キ皮ヲ

ツリ去テキサ細ニ水入テ淨

物ヲ捨テ日ニ干少シ炒リ用ユ

茯苓 是モ松ノ根ナリ但茯苓

ハ根貫キテアリ製法ハ茯苓ト

同シ

五味子 一名合會及一名玄及日

本三ノハサ子カツラノ實也八月ニ

實ヲ採テ陰乾ニス鹿皮ヲ去酒

ニ浸シ蒸テ又日ニホレイツテ研ス

鐵シイム

胡黄连 一名六割孤日本ニテハ夕

ククラ用ユ採ニ時ナレトアリ然

トモ七月ニ花サク八月ニ取也其二

一使フ唐ヨリ來ル物ノ根ナリ

地黄ノ如クノ味ニ苦シ

野杖根 一名八苦杖日本ニテハイ

タドリノ根也圖經曰ク虎杖ニ

名ハ枯杖ト云フ今處々ニ是

了り三月二苗莖ヲ生ス竹ノ子ヲ執  
ノ如クニシテ入ニ赤班ノ點アリ初テ  
生スルニ便チ枝ヲ分ツ葉少杏  
ノ葉ニ似タリ七月ニ花ヒラケ九月  
ニ實ヲ結ズ二月ニ根ヲ取ニ白  
ニ干

荷蘆巴 ツキキ 圖經ニ曰ク春苗ヲ生

夏實ヲ結テサヤヲキス秋ニ至

テ取テイリ未テ用テ下也

胡桃實 クルミノ事

吳茱萸 一名公穀 日本ニモアリ

九月九日ニ採テ陰乾ニス凡使

ニ其マ湯ニ入テ能洗ヒテ汁ヲス

ツル事七度ノ核ヲ去日ニホシ炒

雷公ヲ傳云葉核并ニ雜物ヲ

去テ鹽水ニテ洗フ事百度ノ日

示シ茱萸十兩ニ鹽二兩ヲ用

テ研末ノ東流水ニテ洗テ用テ天

ニ効アリ

穀精草 二三月ニ穀ヲ田ノ中ニ於

テ取ル名公戴星草花白フソ

少ニ圓ク星ニ似タリ故ニ此名

ルニ時華子カ云ク饒タレ馬ニ

飼テ肥圖經ニ曰ク今更クニ聚テ

リ春穀ヲ田中ニ生ス葉幹俱ニ

青ク根華并ニ白ニ二三月ノ内ニ

花ヲトシテ用テ又一種アリ莖梗

長ク節アリ根微シ赤シ古方

稀ニ用ニ今齒ノ藥ニ多ク是ヲ使  
陳藏器云ク味ヒ甘ク平馬  
牛膝ニ入用花白ク葉細ク

牛膝 一名八百倍日本ノノムキト  
云ノ草ノ根也二八月ニ根ヲ取テ

陰乾ニス土氣ヲ洗ヒ蘆頭ヲ去リ  
日ニ干酒ニ浸シ又日ニホシ焙リ用

厚朴 一名厚皮一名赤朴一名

淡白日本ホソク村ノ皮也三九月

二皮ヲトツテ陰乾ニスイカニモ厚ク

用ニ白水ニ一夜ヒタシ上方ノ多割

去テウヌク劉ニ熱湯ニ浸テ分

ヲモニ洗ヒ生薑ノ汁ニヒタシ日ニ干

能ク炒テ口ヲ用ニ番分云ク紫

色ニ味ヒ辛キヲ好トス丸散ニ

ハ鹿皮ヲ去テ醋ヲ用テ製シテ

不避レ使フ湯藥ニハ生薑ノ自

然汁ニヒタシ炙リ用

枳椇 枳椇ノ癭多クシ云フ

胡桐淚 胡桐木ト云木ノヤニナリ

其葉初メ生ス事柳ノ葉ニ似

タリ漸ク大ニナリ則チ葉桐ナトニ

似タリ其津液地中ニ入テ大石ニ

相著ク冬月ニ採ル狀チ黃礬若姜

石ノ如シ味ヒ極メテ鹹ク苦シ此

藥リヲ水ニ入テ見ル則チ漸クナリ

胡椒 海藥ニ云ク陰ニ向フ者ヲ華

澄茄ト云陽ニ向フ者ヲ胡椒ト

云用ルニツキ碎キ粉トナス

五倍子 一名八支蛭 一名八百蟲舎

日本又云テノ科ノ實也即チノレノ

事ナリ九月ニ採テ陰乾ニス内ニ蟲

多ク多ク能ハライ捨テ細ニ用ユ

胡麻 酒ニ浸シ九度ムシテ其後炒

テ使フ烏麻ト云フハ黒ミノ事

殺羊角 良説云ク大ニルヒツビノ

角ナリツノモ大キナリ紙羊角ト

男ツシメノ角也ト此説未審ナラ

一説ニヤギノ角ナリト云フ又ニテ

フロ使フ

蜈蚣 分テノ事ナリ雷公カ云ク千

足ノ虫ヲ用ルイナカレト頭上ニ白

アリ面并ニ此角小大也若誤テ

用ク腥臭ノ氣頂ニ入テ死ヲ致

ス柳ノ木ニサケサニ土罌中ニ

テイル木腐シ黒色ニナリテ後木

ヲ去竹刀ニテ足ト申シ去テ用ニ

一説ニ酒ニ一夜浸シ割ニ炙ルト

云フ方ニ云ヘシ

虎骨 并虎肉微火ノ上ニ焙リ乾

シ搗テ粉トナシテ衆藥ノ内

ニ入用テトナリ

虎腦骨 虎ノ子ノ骨也ト云フ

醋ニ浸シ火ノ上ニテ直ニヤキ使フ

半黄 雷公カ論ニ四件アリ其第

一三牛ノ角ノ間ニアリ是ヲサキ

ワツテ其黄濃ヲトツテ便ナ水  
 中ニ収メ水ヲメ其ヲ使フトアリ有  
 説ニ牛ニ人參ヲ飼テ天日ニ晒テ  
 其ヨカシラウケテ百日陰乾ニシ  
 用トナリ日本ニテハ採事ナシ  
 唐ヨリ來ルヲ其ニ研テ使フ  
 骨碎補 一名石菴蘭 一名公骨  
 碎布 雷公カ云ク凡採得テ銅  
 刀研解テ上ノ黄赤クケテ削リ  
 盡メ細ニ切テ酒ニ拌セツルホサニ  
 メテ柳甑ニテ蒸ス事一日ノ後  
 暴シ乾メ用メ又蜜ニカキメ蒸  
 事モアリ  
 紅藍花 一名黄藍即千紅花也

日華ノ三人華ノ事ナリ炒テ用  
 コ又生ニテモ用ルケモアリ實モイ  
 ツテ使フ産後ノ中風煩渴ニ用エ  
 ルガアリ  
 紅糟 ベニカスノ事也  
 牛房子 一名貝子 一名大加子  
 少シ炒テ用ス  
 黑參 玄參ノ事ナリ  
 黑衣 ウヅリニダリタルノ事  
 黑鏢 名ナリノ事ナリ  
 天門冬 一名天門冬 日本ニテ實中  
 ノ根也ト云フ藥屋ニ皆是ヲ  
 賣ト見ヘク是ニテハアルニキ也

天門冬ハ草ガ子モ葉モ別ナリ  
本草ヲ見レハ知ル間記スニ及公  
二三七八月ニ根ヲ採テ暴乾又  
云白水ニ浸シ土氣ヲ洗ヒ四ツニ  
イテ心ヲ去リ蒸テ日ニ干アリ  
用ユ

蕪荳 一名丁蕪。一名蕪荳。高  
一名大室。一名大適。日本ソト  
コナツナノ實イ也。平澤及田  
野ニ多ク生ス。立夏ノ後實ヲ採  
テ陰乾ス。雷公カ云ク凡使フニ赤  
ヤリニテシロシ使フ。

鬚子ヲ用ルヲナカレ真ニ草蕪  
子ニ相似タリ製スルニ糯米ト相  
合シ焙テ米熟スルヲ待テ米ヲ去  
單ニ搗テ用ユ。説ニ紙ヲ鎔ニキ  
テ炒テ用ユト

天南星 日本ニモアル。葉ヨニヤクイ

モノニ似タリ。八月ニ取ル。圖經ニ  
云ク二月ニ苗ヲ出スルニ莖荷ノ  
梗ニ似タリ。莖高キ草一尺ガリ  
末ニ葉アリ。兩枝相抱テ生ス。五  
月ニ花サク。黃色ナリ。七月ニ實ヲ  
結テ穂ヲナス。石榴子ニ似テ。紅  
色アリ。根辛ニ似テ。圓シ。八月ニ  
根ヲトル能ク。苗弱ノ根ト相

類ス人多ク悞テ是ヲトル毒藥  
 ハ藥ニダラニシテ花紫紫色也コシヤク  
 イモノイ也一説ニ天南星本草所  
 説ノ如シハ即チ鬼掌也小方者  
 フ由跋ト爲ス後人採用テ即チ  
 一名ヲタツルニ南星毒アル故ニ  
 生薑ニテ製ス又炮ノ劉三用ユ  
 天花粉 カラスウリノ根ノ事ナリ  
 ツキ碎キ水ニイサセテウ公公ニシ  
 拾テ日ニ干炙リ用ユ  
 天仙藤 日本ニテハ葉木香ノ也  
 飯ノ上ニ置合ニテ劉三炙リ用ユ  
 天麻 其ノ劉三炙テ用ユ痘疹ニ  
 モ其一、使フ也方ニ依テ紙ニツ

三酒ヲシマシ炮ニテ用ユ  
 天雄 ヲイノ皮尖ヲ去キサニ細  
 ニ用ユ  
 釣藤鈎 ツル也日本ニモ紀州ニ

アリト云フ



阿魏 雷公カ論ニ先淨鉢ノ中  
 ニシイテ研テ熱酒ニテ製シ藥  
 ノ中ニ入レ用ユト又ニゴムキノ粉ニ  
 スリ合セ製ニシ大井錢ホトニシ  
 蝕及芥麩モ共ニ其ノ使フ鳥  
 モチノ如ニシテモルク息キ物也又  
 ナツチノ實ノヤウニテツククシト  
 カタニリタルアリ香モナシ是最

佳ナリ製スル事ハ前ニ同シ又酢

ニテ煮ホシテ使フトモ云フ

阿煎藥 百藥煎 上ニ同火ヲ息

安息香 卒ト研テ砂ニシテ去テ

酒ニテ煮布ニテユモハ布ニ

留ル安息ハ酒トツレテトヲル

也其後又煉テ使フ

阿膠 日本ニ云ニカワノ事也本

草ニ云ク乾牛皮ヲ用テ作シテ

アリ唐ヨリ來ル細ニ劉ニ炒テ用

**五**

酸棗仁 日本ニ云ナワシロクニ實

也ト八月ニ實ヲ採テ陰乾ニシ

即酸棗ノ葉ヲ飢ニシキ半日

ハガリ蒸テ皮尖ヲ去テ日ニホシ

シヨク用ユ

桑螵蛸 一名蝮蝮 クワノ木ノ

枝ニ生ツケタルガキリ子ナリ

二三月ニ採テ鑄ノ中ニテ熬テ

用ユ餘ノ木ニモアレトモ不用藥

ニシルニナシ

桑茸 一名桑菌 一名ハ木麥

クワノ木ノクサヒラ也劉ニ炙テ用

今藥屋ニ桑寄生ト云テ賣

ハ皆コレト見ヘタリ

桑白皮 クワノ木ノ根ノカワ也去

中人深ク入テ煎ヘサレタル根ノ皮

太モ佳ナリ土氣ヲ洗ヒ上ノ黄

十九度ヲケケリ去テ白キ處ヲ取  
テ劉ニ焙テ用エ土ノ上へ出タル根  
ノカワヲ用エベカラス人ヲヨロトア  
リ鐵氣ヲ思グワノ葉ハ蜈蚣ノ  
毒ヲ解ス

桑寄生 クワノ村ノヤドリ木ノ事

也坐ニ灸テ用エ代藥ニ升麻ヲ

用エト又公桑茸ヲモ上皮ヲサリ

使フト也

蒼耳 日本ニ云オナモミノ事ナリ

實ヲ使フニ炒リ焦ノ用エ

蠶布 カイユヲカク時下ニキル

紙ノ事ナリ灸テ劉ニ使フ

犀角 ワリテニルニ八方トモニサメ也

イタダラハ別ノ角ト知レ鳥犀

角ト云ラハ色黒シバニテヲロシ使

酸榴皮 スシヤクロノ實ノカワ也白

水ニ浸シ裏ノウスカワヲ去テ用エ

柴胡 一名ハ山菜一名茹草葉一

名ハ芸蒿日本ニ云カクモシヤト

云草ノ根也ト又野カンタウトモ

云フ華白クウツアカキハ是白柴

胡ナリ又河原柴胡ト云ハ黄色

ナル華サキテ根紫色ナリ河原

ニ多クアル物也ノセリト云ナリ蘆

頭ヲ去リ白水ニヒタシ土氣ヲ洗

キサニ日ニ乾用エ火ヲ息

皂角刺 サイカクシ人ガリ也炒ホシ

使ノ升皇角サツカクノ宗ノ處トシニ具ニ  
記ス

山慈菘サンシユ 一シジミヤクノ根也ホウ

ツキノ根ヲ使フ人モアリ。本草ニ

云ク葉ハ車前ヤセニ似タリ根ハ慈菘

ノ如シトアリ然ル則シテニシジミヤク

ニテモナキカ審ナラス

酸漿草サンシユ 順ノ和名ニ云ク兼名苑ニ

云酸漿水。一名ハ洛神珠ワクシシユ 和名ハソキ

山施子サンシ 日本ニ云ククキナシノ事也

仁心胸ノ熱ヲサリ皮ハ表ノ熱ヲ

去ル蘆頭ヲ去テ劉キナ三焙アハ酒

ニテ子ハリヲ洗アラヒ捨ステ日ニ乾カク使

雷公カ云類本ナル者ヲ用ル事ナカ

鵝カノ伏尸ト云テ施子シニカナシ雀腦

ノ如クニノ鬚長ク赤色ナルヲ上トス

山菜萹サンシ 一名蜀棗シクサウ 一名雞足

名ハ魁實核ヲ去リ炒アテ用ユニ代

藥ニ日本ノナニシクミラ果ノ如

ニ蒸カテ核ノ中ノ實ヲ去テ使ツク

ト云フ説アリ

草烏頭サウウ 炮カノ皮ヲ去テ劉キ

細辛サイシン 一名小辛セウシン 日本ニアル葉

タツノイモノ葉ニ似テ小ク葉ハ紫

色ナリ根一本ヨリ三葉四葉ハシ

出ル也葉ハ内ニ少シシ文アリニハ

月ニ根ヲ搗カテ陰乾カニス去キ氣ケヲ洗

荳頭ロツヲ去テ白水シニ一夜ヤヒタシ劉キ

用

蒼朮 サウジツ 日本ニ云オケラノ事ナリ若

根ヲ蒼朮木ト云古根ヲ白朮ト云

但レ時月ニ元ヘキカニ三月ニ採

ラ蒼朮木ト云ハ九月ニ取ラ白朮

ト云フカ製法ハ白朮ノ下ニ記ス

山藥 サンヤク 日本ニ云ヤノイモノ事也冬

彫ニ採蒸シ乾テ用真ニ薯蕷ノ

下ニ記ス

山柰 サンサイ 麝ヨリ來ル也又湯ニ冬

子ヲ去テ肉ヲトリテ用

山葵子 サンキリ ノセノ實也炒テ用

蠶沙 サンシャ カイコノ屎ナリ

草豆寇 サウコウ 唐ヨリ來ル也草葉ノ皮

ニ似テ中ノ實ハ縮砂ヨリ少シ

大キナリ布ニ包ミミタノカ多取

テ炒テシロヌ



京三稜 キョウサンリョウ 一名六削堅中尉日本ス

ケノ根也根ヲトツテホ氣ヲ洗ヒ

毛ヲ去リ醋ニテ煮テ翌三日ニ

ホシ炙リ用ユ

金沸草 キンホウサウ セシク花ノ也未詳ナリ

薑黃 キヤウワウ 莖迹ノ中ニアリ若根ノ細ヲ

莖黃ト云フ其次ヲ鬱金ト云ヒ

古根ヲ莖木ト云フ何レモ一類也

葉青緑ニシテ長キ事一二尺ハカ

リ瀾キ一三四寸斜ニ文アリ花

紅白也ナリ取ニ時ナシト又云八  
月ニ根ヲトリ片ニ切テ暴ニ干シ  
炒テ用ニ

桔梗 一名六利女一名只房園。一

名六白藥。名只梗草。日本ニ多クアリ。六月ニ根ヲ取テ暴乾ス。土氣ヲ洗ヒ白水ニ一宿。蘆頭ヲ去リ。對三日ニ乾テ用ニ

枳殼 和名カラタチノ木ノ實也

キコクト枳實ト同物ナリ但キ  
シハ小ク青キ時ニ採キコク熟  
ノ是ヲ取ナリ。凡製ス下白水ニ  
タシ裏ノ核ト幕トヲ去テ對  
麥ノ皮ニカキニせモ三合セ炒テ

其後麥ノ皮ヲ煎ステシ  
キシツモ製スル事コレニ同シ

麒麟竭 日本ニテハアレゲ馬ノ血ヲ

使フ唐木ノヤニナリ松脂ナリ如  
ニナヨリ流シ出ル液ナリ本草木  
部ノ中ニナリ。雷公カ云ク凡使ス

先研ニ粉トナシテ篩テ使フ。衆  
藥ト同ノ搗化スナナカシ飛テ

塵トス也

橘核 三カニノ母ナ也イツテ用ニ

橘紅 陳皮ト同シ

杏仁 和名カラモ、ノ核ノ中ノ也

俗アンストモ云フ五月ニトル雙仁  
ナル者ヲ不用イリテ熱湯ニ浸

皮尖シ去テキサニ用ユ

鳩糞 ハトノ屎ナリ

葍 撫芳上ニ同シ川葍ノキ夫

生出タル若根ノ少キヲ云フ製法

ハ川葍ノ下ニナリ

葵子 冬葵子トモ云フトノ字

篇ニアリ

金櫻子 和名ユカ子光

金牙 日本但馬國上野ノ國ニ

アリト金也ノ如トアリ

龜甲 一名神屋カワ龜ノコウ也

トシ時ナシ製法ハ龜甲ノ下ニ

アリ

菊花 一名ハ節花一名ハ白精

名ハ女節一名ハ女華一名ハ女

葉一名ハ更生一名ハ周盈一名ハ

傳延年一名ハ陰成和漢同シ

莖紫色ニ氣香シクアキヲ

用ユクキ青色ニ氣モナク味

苦キハ用スカラス陰乾ニスト

アリ然トモ日ニ干テモ苦シカ

ラス臍トクキトヲ去又云黃菊

花ヲ用ユトナリ九月ニトル火ヲ忌

菊 名石キクノ花ノヤウナル文ノ

アル石也日本ニテハ紀伊國多

クアル也

稀黃草 一名ハ火葍和名メナ

モ三ト云フ秋黃色ナル華サク

ナリ五月五日七月七日九月九日  
ニ採テ暴干テ酒ニタシ九  
釐サシ九度曝サシテ未トナス  
金銀花 スイカツラノ花ナリ陰乾  
ニテ使フ忍冬ノ下ニモ記ニノ字  
ノ篇ニアリ

**油**

榆白皮 一名八零榆 和名ニレノ  
木ノ皮ナリ二月ニ皮ヲ採八月  
ニ實ヲトルト也製スルニ上ノ  
皮ヲ削リ去テ白キ處ヲ削三  
用五日ニホス  
柚核 ユノサ子ノ事也イツテ碎キ  
カワヲ去テ用ユ

硫黄 日本ニモ處々ニアリ水飛  
ノ使フ也

**女**

明礬 白礬トモ云フスキダウサ  
ノ事也日本ニモ飛騨國長門  
國肥後國阿蘇ノ社ナトモ  
アルト也焼テ使フ也  
綿附 ヤラカナル附子ノ事也

**美**

蜜 製法ハミツヲ茶碗ニ入レ沸  
湯ノ中ニオイト是ヲ煉ニ上ヘ  
沫ヲ去テ其沫ヲ去ヘシ蜜十  
兩ヲ子ツテ八兩ニ云ルヲ度トテ  
但レ蜜ニヨルベト也

密陀僧 日本ニモアリト云ラ金

銀ノ丸國ニアルト也ルカスト也

其ノ使ヲ説アリ又柳ノ木ノ空

アル蟲ヲ採テ蟲ノ足ヲ去テ蜜

陀僧ニ交テ東流水ニ夜浸メ

後馬ヲサリ蜜陀僧ヲ乾シ用ユ

狸狹 一名ハ御狸サルノ事ナリ

師ヲ干テ使フ事アリ



磁石 一名只玄石 一名只慶石 日本

ニモアリ 近江國淺井郡鹽津嶋

ニ無時コレヲ採ト又意庵宗

恂ノ白陸奥并ニ備前ノ國ニ有

之製法ハ東流水ヲ以テ煮事

三晝夜サテ漉出シ拭ヒ乾シ

布ニ裏ミ石ノ上ニ置テ打碎

キ細ニシ乳鉢ニ入レ研テ用ユ

紫石英 赤白紫紫色ノ三種アリ

土器ニ入レ火ノ中ニ於テヤク俛

紫石ニ酢ヲ塗テヤクナリ又云

焼テ後水ニテ洗ス

赤石脂 日本ニモ太宰府伊豆

國ニアルト也是モ酢ニ浸シテ

焼テ使フ

辰砂 本名朱砂ナレトモ辰州

ヨリ出ル朱砂佳ナルニ依テ辰

字ヲ置ナリ製法ハ多ケレトモ

夕、研テ水飛シ日ニ乾再シテ

使フ日本ニテヤク朱ヲ誤テ朱

砂ノ代ニ用ユヘカラス

信石 シンシキ 人言トモ書 砒礞ノ事也

秋石 シュシキ 小便所ニ小便ノカ多リタル

ヲ採テ日ニ干スリ使フ

青木香 セイモツカラ 山近キ野ニ多シタル天

仙藤ト云フ火ヲ忌ム

赤芍藥 セキヤク 一名ハ餘容ノ名 粉食

一名解倉和漢同シ山中ニナル池

アカカヒトヘノヲ用ユ白ハ補ヒ赤キ

瀉スニ八月ニ根ヲ採テ曝乾シ土

氣ヲ洗去テ白水ニヒタシ竹刀ニテ

上皮ト并ニ薑頭ヲ去テ石上ニ

置テ打タキ日ニホシ焙リ用銅

鐵ヲイム

紫參 シ 一名只牡蒙 一名ハ衆戎 一

名只童腸 一名只馬行 和名チノ

ハクサ三月ニ根ヲトル多リ用ユ

蛇脱皮 日本ニハクチナウノキヌ

ノ事也鐵ヲイム

蛇床子 一名ハ蛇粟 一名ハ蛇米 一

名ハ廼林 一名只思益 一名只纏毒

一名只棗棘 一名只蕃薔 和名ヒ

ルムシロノ實ナリ又ハタケセリク實

ナリトモ云是ハ田野ニ多シ葉ハ

リノ如クニテ高サ二三尺アリ五

月ニ白キ花サキテ苗香ニ似タル

實アリ是ヲ用ヒテ佳ナリ日ニ干

毛ヲ去リ少シイリテ用ユ一説ニル

今シロノ實ハアシトナリ

使君子 本ハ四君ト書ク今ハ使君

子ト云ナリ皮ヲ去テ炙リ用ユト

アトモ實少キ故ニ皮トモニ炒

用ユ

車前子 一名ハ當道一名ハ朱昔

一名ハ蝦蟆衣 一名ハ半遺一名

勝鳥 和名オゴノ事也實ハ七

月八月ニ採テ日ニホシニ其マ

月ユ又少シ炒テモ使テ葉及根

ハ五月五日ニ採陰乾ニス

蒺藜子 一名ハ旁通一名ハ屈人

一名止行 一名ハ豺耳一名外

摺 一名ハ茨和名ハニシノ實也

七八月ニ採テ暴ニ乾シ木臼ノ中

ニ於テ搗皮ヲ去リ酒ニ拌セ蒸

テ用ユ

紫菀 和漢同一名ハ桂萸一名

ハ水壯元葉ハ六月ニ取テ白ニ干

テ用ユ火ヲ忌紫蘇子炒ニ使

椽實 和名クヌネノ實即トナ

事也

辛夷仁 一名ハ辛薺一名ハ候桃一

名ハ房栲 和名コブレノ木ノ實ノ

事也九月ニ採テ暴乾シ雷公ニ

麋皮并ニ上ノ赤肉ヲ去テ色

蕉水ニ一宿シ漉出シ又漿水ヲ用

テ煮テ<sup>カカレモキユ</sup>已ヨリ<sup>カ</sup>未ノ時ニ至ル<sup>カ</sup>サテ<sup>カ</sup>燂<sup>カ</sup>  
乾テ用ト也又云ク燂テ<sup>カ</sup>使<sup>カ</sup>ト也  
花ハ灸テ用ユ

眞蘇油<sup>シソ</sup> シソノ實ノタラフ也紫蘇<sup>シソ</sup>  
子ヲ少イリ蒸テ油ヲ<sup>シソ</sup>シホリ取ナリ  
紫蘇<sup>シソ</sup>一名ハ陵茗<sup>シソ</sup>注云<sup>シソ</sup>即千零陵

華是也トアリ日本ニテハ<sup>シソ</sup>多シ  
カウラノ花ヲ干テ燂テ用ユ花十  
クハツクモ葉ヲモ用ユトナリ

紫蔚子<sup>シソ</sup> 一名ハ益母<sup>シソ</sup>一名ハ益明<sup>シソ</sup>  
一名ハ大札<sup>シソ</sup>一名ハ貞蔚<sup>シソ</sup>和名<sup>シソ</sup>

ハシキト云フ韃ノ實ナリ九月  
ニ採テ暴<sup>シソ</sup>シ乾ス鐵ヲ忌ム益  
母草トアル則ハ葉ヲ使フ製法

ハヤノ草ノ篇ノ益母草下ニ註ス

商陸<sup>シソ</sup> 和名エ<sup>シソ</sup>コウ八月ニ根ヲ採

テ能ク土氣ヲ洗<sup>シソ</sup>動ニ炙ル又云ク  
赤ト白トノ藥性異ナリ赤キハ  
腫氣ヲ消ス白キハ水氣ヲ利ハ

紫檀<sup>シソ</sup> 劉ニテイカニ毛紫<sup>シソ</sup>色ナリ者

麝香<sup>シソ</sup> 偽モノ多シ紅ノイトニ麝

香ヲ塗テ見<sup>シソ</sup>シレナイ皆ハ<sup>シソ</sup>黄  
色ナル者ヨシ又云ク麝香ノ中ニ  
大豆ノ様ニカタリタルアリ是ヲ名

ツケテ當門子ト云フ是ハ<sup>シソ</sup>佳也  
使<sup>シソ</sup>ス中ニ交リテアルモ去テ  
茶碗ニ入ヨク研テ藥ニ入ス

縮砂 煨テ。タフ布ニ包ミ。アカラシク

テ用ユ。日本ニハ山ハビカミノ寶

リト云フ

常山 一名互草日本ニゴクサ

ギト云フ又ハ山アギサイトモ云

八月ニ根ヲ取テ陰乾ニシ土氣

ヲ洗ヒ日ニ干酒ニ漬シ又日ニ

干テ割ニアクル

蜀漆 即チ常山人葉ナリ日

ニホレテ坐ム

苜蓿 一名八苜陽和漢同シ一

寸九節ナ者ヲ用土ヨリ上ハ

アガル根ヲ露根ト云フ是ヲ用

ユベカス八月十二月ニ根ヲ採テ

館水浸シ土氣ヲ洗ヒ陰乾ニシ

銅刀ニテ皮毛ヲ削云テ坐三日ニ

干用ニ鐵ヲイム

薯蕷 一名羊玉一名山藥 和名

山ノイモニ八月ニ根ヲ採テ銅刀ニテ

皮ヲ削リ去テ采ノ粉ヲヌリテ日

ニアタラヌ處ニ置テ風ニラカセ乾シ

坐ム炒シ蒸テラキラス生ニ干乾用

又或説ニ冬月ニ取テ蒸テ蒸シ

乾トアリ方ニ依ヘキカ鐵氣ヲ息

神麩 六月六日ニ小麥ノコトモニ

モミ汁ニテ子テ小サニキツテ麩上

ナレ子ニテイリ用又云ク大唐米

飯ニ黒豆ヲ炒テ粉ニテ飯上ニ

カウシノ如クニ合ノ中ニテカハシテ  
用元ト也

靜皮 一名童皮ニカンノ青キ時ニ

搗テ四ツニワリ中ノ穢ヲ去シテ

脂麻清油 胡麻ノ油

樟腦 和漢同シ水邊ニ生シタル

スノ木ノ根ニ大キニカ多リニマリト

其ヲ燒テ使ス也七度ヤケハ龍腦

ノ香カスルノ樟腦ヲ天目ニ入テ

上ニ天目ヲ蓋シテ合ニ紙ニテ

ハリ塞キ火ノ上ニ置テヤケ上ノ

天目ニツリテタルヲゴケ取テ使

秦光 和名トガリクサハカリクサニ

八月ニ根ヲ搗テ暴シ乾ス土氣ヲ

洗ヒ蘆頭ヲ去リ坐シ卒ト焙

秘用方ニ云ク秦光ナクハ代藥ニ

乾葛ヲ用ルト也

紫草 一名紫丹一名紫莢ム

ラキノ根ナリ三月ニ根ヲ採陰

乾シ土氣ヲ洗ヒ茸頭トモ

ヲ去テ坐シ炙ル

紫苔 トサタリノ事也

紫菜 ムラサキノリ也

秦皮 一名石櫬一名岑

皮 和名ト子リコト云フ木ノ皮也

二月ニカワヲ取テ陰乾シ白濁

ニ一夜ヒタシテ鹿皮ヲ削リ去テ

キサニ炙ル

秦椒 秦州ヨリ出テ蜀椒ハ蜀國ヨリ出花椒ハ熟ノ色ノ赤キヲ

云フ日本ニテハサセウト云フ八九月ニ實ヲトル

柿蒂 クレキノ人々也ヨク洗ヒキ

雌黄 東流水ニ洵洗フ事三度ソ水ヲ去テ拭ヒ乾シ白ノ中ニ打

クタキ研テ篩フ 眞珠 ハクリ財ノ中ニ丸玉ノ事也

製法ハ漿水ニテ煮テ三晝夜サテ草湯ヲ以テ洗ヒ白ノ中ニ

於テ擣クタキ細ニ研テ用ユ 沙參 一名知母 一名菩慈 一名ハ

志取 一名虎鬚 一名ハ白參 一

名ハ識美 一名ハ文布 二月根

ヲ採テ暴ヒ乾スト明ニアリ 并ニ一官云日本ノツク人參ノ事也

ト日本美濃國ニアリ 紫藤 常ノ藤ノ一也根ヲ採テ

洗ヒキサニ灸ル 紫苑 一名ハ紫葺 一名ハ青苑 和

ヲテノシユク母ニ三月ニ根ヲ取テ陰乾ニス昔頭ヲ去リサニ焙ル

紫苑茸 シラノキヨリ二三寸生タルトキ取テ乾シ水ヲ以テ洗テ

坐三灸ル 赤小豆 アツキノ事ナリ食療本

草三云ク鯉魚ト煮和ノ食ス六脚  
氣ヲ治ス



垣衣一名昔邪一名八鳥韭二名

垣藟一名八天韭一名八胤韭 和名

シククサノコケ 雷公カ云古キ垣ノ

カケ或ハ屋ノ上ニ生ス三月三日ニ

取テ陰乾ニス

管實 一名八蓄薇一名八播麻二

名八棘一名牛勒一名八蓄薇

名八山棘ハ九月ニ採テ陰乾ニス雷

公カ云今ノ蓄薇也鹿布ヲ以テ

黄毛ヲ拭キ去テ細ニ剉ニ漿水ヲ

用ヒ濕テ蒸事一宿ヨ日ニ干用ニ

和名 八管實ハゴバラノニトアリ

鹽花 シホヤク所ニ何ニ毛即焼付

タル用



擲椰子 中ノクサリタルヲ捨テ如何

ニ毛堅ク重キヲ用ニ其ノ剉ニ使

火ヲ思ム

白檀香 麝ヲ來ル其ノ剉ニ用

火ヲ思

自及 一名八苕根一名八連及草 和

カ、ニクサ

批把葉 ヒソノ葉ノ生ナル時ニ葉一

枚ノ重サ一兩アル者ヲ四月ニ取鹿

布ヲ以テ毛ヲ洗ヒ去リ并ニ筋ヲ

去テ其草湯ニテ洗ヒ又ヌミテ  
拭サテ酢ヲ塗テ炙リ乾シ用ユ  
又一説ニ毛箆ヲ去テ其ハ炙リ  
乾シ用ユト

葦澄茄 陽ニ向フ者ヲ胡椒ト云ヒ  
陰ニ向フ者ヲ葦澄茄ト云ト也胡  
椒ノ條下ニ毛記ス雷公カ云ク酒

ニ浸シ蒸フヨリ酢ノ時ニ炙リ  
サテ持テ細ニ用ユト也或説ニ  
火ヲ忌トアリ

白豆蔻 上皮ヲ去リ卒ト炒シ使

百合 一名重箱一名摩羅一名  
八途花一名強瞿 和名ユリノ葉  
大ニ花ノ白キヲ用ユ葉小ニシテ

花ウスマカキハ用ユカラスニ八月  
ニ根ヲ採テ暴シ乾シ蘆頭ヲ

去テキサム

百草霜 五月五日ニ色々ノ草ヲ

百種ホト取り集メ黒燒ニスルヲ

ニ云フ

白木 一名八山薊一名八山薑一名八山

連一名八山茶一名天蘇一名八山精

一名只乞力伽 和名オケラニ三八九

月ニ採テ暴乾カス若木ノ條下ニ

毛記ス白木ト蒼木ト一種ナリ製

法ハ米ノ汁ニ浸ス事春秋二日

夏二日冬八四日毎日水ヲカヘテ

ヨク洗ヒ上ノ黒キ皮ヲ削リ去テ

鹽三日二千炒り用

薺藤子 和名タツミ。カスガノ實ノ

ヲ用テ煮和ノ上皮ヲ去實ヲト

リ研テ用テ葉ハ桑搗テ脚氣

風腫ノ和仁丸ニ是ヲ付ヨ効アリ

白葵花 韓アライノ花也製三燒

白蒿蒿子 多クシヤノ實ノ事也

少シ炒テ用

菴藪 日本ニテオニトゴロノ事也ト

云フ蔓アリ根ハ黄ニ白ク節多葉

ニ三ツカド有テ色也アラク山ノ草ニ

似タリ花ノ黄ナルト白キト種々

リ又花ナクノ白キ實ノ丸モアリ

又莖ニ刺アル根白ク堅シ莖ニ刺

ナキハ根ヤハラカナリ軟ク多用ス

ニ八月ニ根ヲ採テ暴乾ス又ニ説ニ

セキスイノ事也トモ云ヘリ

菴藪 醋ニ三夜ヒタシテ干リ乾ス

一説ニ火ヲ息ト云フ然レ共蘇香園干

上ニ合スル時モ炒ルナリ

白欒 一名ハ菴核一名ハ白草一名ハ

白根一名ハ崑崙 和名ヤカニ

一本ニヨトリ上戸ニ八月ニ根ヲ採

テ暴シ乾カス

薺藤 一名ハ薺藤一名ハ薺藤

薺ノ苗ナリ和名ハ川薺ノ條下ニ記

白鮮皮 和名ツツクノ或本ニ花ノ

白ククククククノ根ノ皮也ト未  
詳ニスス白水ニ浸シ黒皮ヲ去キ  
サニカスル

百部根 一名樹木又波婦草ト  
名ク和名オトツルオトツラ俗ノムク

ヘクカツラノ根キリ土氣ヲ洗ヒ  
竹刀ニテ鹿皮ヲ削リ去テ酒ニ  
夜ヒタシ製三焙リ乾シ用ユ

白芷 和名カモモ目イノクサハ  
ウノ異名ト製法ト香白芷ノ  
條下ニ記ス

**毛**

木通 通草ト一種也即通草ノ記  
木香 一名ハ蜜香一名五木唐言來

其下、劉三用ユ火ヲ忌 和名サフ

木賊 和名トクサノ事也四月ニ

採テ陰乾ニシ節ヲ去キサム  
木瓜 和名ホケ銅刀ニテ皮ヲ削

ステ核ヲ去日ニ焙リ用ユ鐵

沒藥 其下、碎キ用ユ

**世**

前胡 一名ハ西天蔓 和名 ヲタチノニ

八月ニ取テ暴ニ乾シ蘆頭ヲサリ

土氣ヲ洗ヒキサ三日ニ干

仙靈皮 トキノ實ノ皮也唐ヲ用

石花 一名ハ浮石一名ハ海南石カ

イシノ事ナリ

石斛 セキコク 一名八林蘭 ハリンラン 一名八禁生 キンセイ 一名

杜蘭 トルン 一名八石遂 セキツグイ 和名イワタスリ

トク并ニ似テ白キ花サク節即シ去

テ酒ニ浸シ日ニ干スブル石ニ生ス

ルヲ用エ木ニ生スルアリ

石茸 セキイ 一名八石鞆 セキヒ 一名八石皮 セキヒ 和名

ヒトツクイワカシワノイワクサノイワク

山中ニ生スルヲ用ユ サキウシヤウ 以聲水煎

聞元處ニアルアリト二月ニ葉ヲ

採テモヲサリ少シ焙リ用ユ

茜根 セキコン 一名八地血 チケツ 一名八茹蘆 ジュロ 一名

八葎 ハシキ 一名八舊 キウ 和名アカ子ニ

三月ニ根ヲ採テ暴シ乾ス土氣

ヲ洗ヒ白水ニミタシ茸頭ヲサリ又甘

草水ニ漬シ銅刀ニテ剉三日ニ干

鐵并ニ鉛タイム

川芎 センキウ 又芎藭 キウキウ トモ云フ一名八胡

一名八香果 カウクワ 和名オナカツスヲニナカ

ツラク丹唐ヨリ來ル キタ 茸頭ヲ

去リ其マ剉ム火ヲ忌日本ニモア

リ江州クツキ山ナトニモアリ トコロ 處ノ

俗是ヲウレクサト云フ三四月ニ採

テ暴シ乾ス

分麻 セウマ 一名八周麻 シウマ 和名トリリヤレト

云フ草ノ根也ニ八月ニ取土氣ヲ

洗ヒ毛ヲ去リ日ニ乾シ坐ニ用ユ

仙人草 センシヤウ クツクサノ事也ト云フ

石榴皮 セキリウユ シヤクロノ實ノ皮也米ノ汁

ニ浸レ日ニ于銅刀ニテハギサニ用ユ

石榴根 セキリウユ ヤクノ木ノ根ノカワ也米

汁ニ浸ス

石膏 セキカウ 一名ハ細理和名ニライシ日

本ニモ備中ノ國飛彈ノ國又太

宰府ナトニアルト也白クウル公ニキ

者佳ナリ目藥ニ黄連ノ煎汁ニ

ヒタシ燒テ使フ傷ヲ治ス

用ユ

石硫黄 セキユワ 打グダキ水者煮ニニ茸草

水ニテ洗ヒ研テ水飛ヌ使フ

石鍾乳 セキセツウ 一名ハ公乳一名ハ昔石一名

ハ夏石日本ニモ佐州カイフニア

ト也製法ハ右ニ同シ

石牀 セキシヤウ 一名ハ乳床一名ハ逆石鍾乳

ノ下ニアル物ナリ

川山甲 セキサウ 一名ハ鱗鯉用割ニ土器ニ

テ炒テラロシ用ユ

蟬蛻 セシタ 一名ハ蟬退世ノシケカラノ事

也土氣ヲ洗ヒ日ニ乾シ炙リ藥研

ニテラロシ用ユ

石决明 セキケツメイ アワヒカラノ事也打碎キ

フキノ厚キ處ヲ用ユ鹿皮ヲ去

水ニテ洗ヒ浄ム

蟾酥 セシソ ヒキカイルノ油也兩ノ一カ

アラノ高キ處ヲ油紙ヲ以テオセ

ハ白色ナルアラアラ出ル也ツレヲ

貯置テ用

蕤薺セイヤイ一名ハク氏ギ薺子イ和名サキクサ

三ノハ人參シシ又ハ桔梗キキョウ似多リ葉ハ

異也上二八月ニ根ヲ採サレカカニ自暴サレカカ乾ス

旋覆花センフクワ一名キン滿ホツ草サウ一名ハク戴タイ花ジン

名ハ盛セ堪シ和名フグルマカノツホ

五月ニ花ヲ採ホステ日ニ干

石龍芮セキリウヱ一名ハク曾ソク果ワリ龍リ一名ハク地チ楨ジン

名ハク石セキ龍リウ一名ハク彭ホ亨コ一名ハク天テン豆ジュ和

ノ多イハク陶トウ隱イン居キヨカ云ハク實ジツノ形カク千

葶藶セキキ子ノ如シハク黄色キイロニ味チ少シ辛シ

蒸キ青アヲ紫ム色キイロクキハクツニ葉ハクニツハクア

リ其葉ハクコトニ刻マ多ツシ五月ニ實ハクヲ

採ハク二八月ニ皮ハクヲ取カケテ陰ハク乾ネニス。又

唐本注ハク云ク俗ハクナツケテ水ハク菫キト云

實ハクハ桑ハクノミノ如コトシ故ハクニ地ハク楨ハクトタツ

下濕ハクノ地ハクニ生ハクス子ハクハ五月ニ熟ハクス粒ハク

大井ハク葵ハク子ノ如ハクシ子ハク葉ハクニ味ハク辛ハクシ

千歳ハク藥ハク一名ハク藥ハク蕪ハク和名ハクアツラ

ト、キ。ツルハ葡萄ハク和名ハクニノ小ハク木ハク

ミトイ生ハクス圖ハク經ハクニ云ク五月ニ華ハク

ヒラキ七月ニ實ハクヲ生ハクス八月ニ採ハク青

黒色ハクニ少ハクシ赤ハクト云

石龍ハク薺ハク一名ハク龍ハク長ハク頸ハク一名ハク草ハク續ハク

斷ハク一名ハク龍ハク珠ハク一名ハク龍ハク花ハク一名ハク懸

菫ハク一名ハク草ハク毒ハク和名ハクタツシケウシ

ノヒタイ五七月ニ莖ハクヲ取ハクテ暴ハク乾ハク

又根ハクハ八九月ニ取ハクテ暴ハク干ハク

青黛セイダイ 靛花土インカニ 三同ウツカニ アイロウアハノ事

也アハアイソホノ上ウツカニニ浮アハテアル淡トシヲ取

テ日ホニ干ツカシ使フ

青箱子セイサウシ 一名サウカウ 草蒿キヤウカウ 一名キヤウカウ 薑蒿

和名ウツサ。アクサ三月クキハニ莖葉

ヲ採トシテ陰乾カケホシニス五六月ニ實ミヲトル

寸

水銀スイギン 一名ハ汞コウ 和名ミツカ子 日本ニ

ハ伊勢國イセノクニニアリ

水銀粉スイギンコ 一名ハ汞粉コウコ 一名ハ輕粉ケイコ 一名

ハ峭粉セウコ 和名シロイノ事也ニ切サイ

ノ諸血シヨケツヲ忌イム

水雲スイウン 和名モツクノ事

水蓼スイレイ 和名カワタテノ事也クテニ似

蓼レイ

蛇ヘビノ毒ドクヲ傳ツクテ毒ドクヲ以モニシホリニテモ

テ莖コ下カシ蛇ヘビニサレ心コ悶マスニ搗イ

テ是レヲ傳ツク又マ絞シテ休ム服スレハ

毒氣ドクキヲ消ス

水萍スイヘイ 一名ハ水花スイカ 一名ハ水白スイハク 一名ハ水

蘇ソ池チ澤タクノ上ニ浮クテ生ス草クサナリ

葉ハ八ニ圓ニスルヲリノ葉ハ似シ芥ノ三

月ツキニ乾ステ日ヒニ乾ス多ク是レ用ユ

補遺

金部

消石セウセキ 一名ハ芒硝マウシウ 先ニ研ミテ火ノ中ニニテ

煨ヒ無キ研ミテ使フ日本ニ三人ノ讚カ岐キ

國クニニテ無キ時トキ採ル之ヲ

世セ確カク製セイ法ハフ前マヘ記キ日本ニ六ロク次ジ率ソウ

府二出也

朴硝セキキヤク一名只硝石朴セキキヤク有鹹水陽是

王都狹備中ナトニアリ無時採之

○意安宗怕云硝ノ類ニ皆一物也

只煉様ノ異ナルニ

陽起石セキキヤク一名白石セキキヤク一名石生セキキヤク一名

羊起石セキキヤク雲母ノ根ナリ

天台石セキキヤクカニスリドノ事也

礪石セキキヤク一名六磨石セキキヤク由セキキヤクノケニイニ

曾青セキキヤクアライニ

風化石セキキヤク即石炭ナリ

伏龍肝セキキヤク釜ノ臍ノトナリニ燒テア

ル土也セキキヤクシロシテ水飛ノ便ナ

鐵漿セキキヤクシタクロ也齒ニ付ルカ子也

草部

防葵セキキヤク一名梨蓋セキキヤク一名房慈セキキヤク一名

八箭セキキヤク一名農果セキキヤク一名梨茹セキキヤク一

名セキキヤク方蓋セキキヤク和名ヤナシノ根也三

月三日ニ根ヲ採セキキヤクニ暴セキキヤクニ乾セキキヤクス土氣

ヲ洗セキキヤク自水セキキヤクニ一夜セキキヤクニ用セキキヤク

阿芙蓉セキキヤク之セキキヤクノ花セキキヤクヲ干セキキヤクテ末セキキヤクヲ實セキキヤク

熟セキキヤクセル中セキキヤクニ竹針セキキヤクヲ以セキキヤクテ上セキキヤクニ刺セキキヤク

ハ白セキキヤクキ汁セキキヤクイヅル也セキキヤクシラキリ貯セキキヤクテ

乾使セキキヤクク

菴蘭セキキヤク和名ヒヨコモキハニ十月

ニ取セキキヤクニ陰乾セキキヤクニス

白蒿セキキヤク和名ノラヨモキカハラヨモキ

山谷川澤ニ生ス二月ニ上

天名精 一名麥句薑 一名八蛟蟻

藍 一名八豕首 一名天門精 一名

八王門精 一名八髮顯 一名蟾蜍

蘭 一名艷 和名ハカカ十川澤

二生 五月ニトル

瀉羊薺 一名八剛前 和名エトリクサ

白薇 一名白葛 一名八微草 一名

春草 一名骨美 和名ハカカサ。

三子ニシクサ 一説ニ白手薺 一名

也 上云フ五月三日ニ根ヲ取テ干

ラ去 白水ニ一夜浸メ劉ニ用エ

草龍膽 一名八陵游 日本ニルン

冬ソト云 乾ノ根也 二月十日ニ

月ニ根ヲ採テ陰乾ニス 土氣ヲ

洗ヒ又陰乾ニシテ銅刀ニテ劉ニ用エ

鐵ヲイム 白龍膽トハ花ノ白ク云

陸釐 一名青釐 和名ハカカサノ事也

續雪草 一名連錢草 和名ハカカサ

八九月ニ葉ヲトル

芋根 和名カラムシ 根

堯花 和名ハニシ 六月ニ花ヲ取テ

陰乾ニス

敗蒲席 古キガムシロノ事也

粉草 草ノ大キナルヲ云

蛇母 クナナワイチゴノ事

地菘 和名ハヒクサ

鹿藿 和名クスカツラ 此草ノ苗ハ

豆ニ似タリ山谷ニ生ス 五六月

二探之

白慈草 和名タマリクサニシウ多

地蕉根 バセツノ根ナリ

朝薔 一名六童草。一名六童 和名

ソトウ。ソトク田野ニ生ス春夏

ハ葉ヲトリ秋冬ハ莖根ヲ上

又云春ハ葉花ヲ用ヒ夏秋

冬ハ只根ヲ採テ 銅刀ニ細カニ

割ニ用ト私ニ云フツノ歟

嶋蒜 イサツキノ事也

胡瓜 キウリ也

海蘿 フリノ事也

昨葉何草 一名八瓦松 和名 カラス

堂上屋上ニ生ス初メテ生スル事

蓬ノ好シ夏採テ日ニ稜

敗船菜 フ子ノカ也

船底器 フ子クコノコケナリ

醜醜汁 イキゴシル

蒲公草 一名蒲鞠草 和名 タシ

ホ、四五月ニ取

故魚網 古キウラノニ也

木部

五加皮 一名六我漆。一名我節。

名ハ我魁 和名 ウニキノ根 和名

ハ十月ニ取テ白水ニ浸シ去氣

ヲ洗ヒ坐ニ焙リ用

棘刺花 子ノ根

仙人杖 冬クマヲヘトリノ事也

柳花 シロヤナキ也

白楊 ツラフヤナキ也赤葉ノヤナキ

水楊 カヤナキ也

黃柳 ツク也

**人部**

靈天蓋 シヤリカスノ事ナリ

頭垢 カニノカクケ

亂髮 カミノチキ也

**鳥獸部**

穢猪 イノシシ也

羊脂膏 ヒツシノ子ノ膏ナリ醋ヲ

又土器ニ焼

白膠 一名鹿角膠鹿ノ角ヲ煮

ニ五カヲト作ト

雞臙脰 ニトリノモク

白鶺 アヒノ事也

啄木鳥 ケラツクキ

雁肪 カリノアフラ也

**蟲部**

水蛭 一名蛟一名至掌和名ヒル本

草 ニ云大ナルモノハ長一尺コレヲ馬蛭

ト名ク又馬蛭トモ名ク只小ナル者

ヲ用テ大ニ效アリ六月ニ採テ暴レ

乾カス又用ルニ白水ニ浸スフ一夜

然リ乾レ使フ又云此物死カタ

多ク加テモ水ヲ得ハ活スト云

蟻

焙乾研末ノ用ユ



火ヲ息ム藥

青黛	犀角	茵陳	羚羊角
茜根	柴胡	木香	雲母
芒消	鐘乳	朴硝	禹餘糧
滑石	雄黃	蘇華	川芎
藍葉	乳香	甘松	桂心
丁香	白檀	藿香	香白芷
檳榔	麝香	牛黃	薄荷
紫草	沉香	胡椒	薰陸香

右火ヲイム藥也

雷公藥性論炮製

煨 火ノシウニワタルヤク也  
 燻 ヤク也

炮 カニニツ、ミテ。上ヲヌラフメアツ灰ニ  
 燻 ヤク也  
 煨 アツ灰ノ上ニテヨハカス也  
 爆 火ノ上ニテハミラカニテ使フ  
 炒 アカ子ノウス物ナトニテイル  
 事也  
 煉 子生事也  
 熬 煎レカハカス也  
 伏 灰ニウツミテライテ雉ノカイゴ  
 ノアタヘニホトラフ云也  
 露 夜ニサラスシ云也  
 曝 日ニサラスシ云也

暴

サラス事也

飛

研テ水ニスリ冬テイサセテ使

ナリ

製

薑汁蜜水鹽水酢ナトニ浸テ

コシラユ事也

蒸

ハス

此和名集并異名製劑記之板  
本近代往々雖在之其誤繁多  
也故今銷謬改字證令開板畢

正保丙戌孟春吉旦

寺町普願寺前

西村又九郎門板刊

